

在宅医療に関する市民意識調査
結果報告書

令和7年10月
大津市

目 次

第1章 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収結果	1
6. 調査結果の見方	1
第2章 調査結果	2
1. 回答者の属性	2
2. 医療状況について.....	5
3. 在宅医療について.....	9
4. 自由意見	38
資料編（調査票）	39

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、在宅医療や在宅看取り等に関する意識や意向などを把握することにより、今後の在宅医療提供体制の充実を図るための基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査対象

大津市在住の40歳以上の市民3,000人を無作為抽出

3. 調査方法

郵送で配布し、郵送で回収またはWebフォームから回答

4. 調査期間

令和7年9月5日（金）～9月26日（金）

5. 回収結果

配布数	無効票	有効回収数	有効回収率
3,000件	9件	1,600件 (郵送：1,254件、Web：346件)	53.5% (郵送：41.9%、Web：11.6%)

6. 調査結果の見方

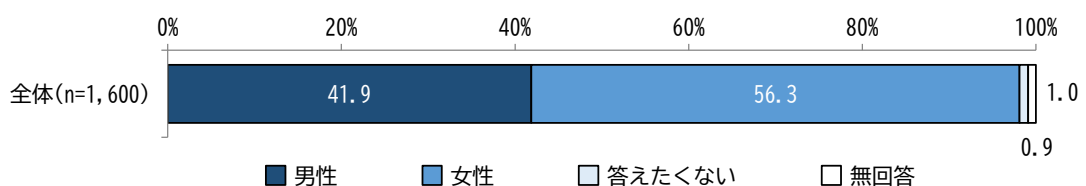
- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

第2章 調査結果

1. 回答者の属性

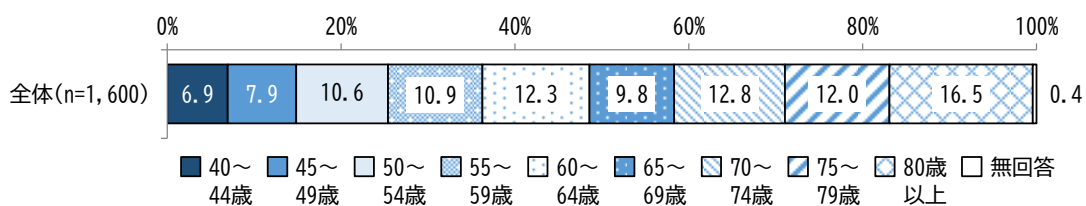
問1	あなたの性別を教えてください。	1つに○
-----------	-----------------	------

回答者の性別について、「女性」が56.3%で最も高く、次いで「男性」が41.9%、「答えたくない」が1.0%となっています。



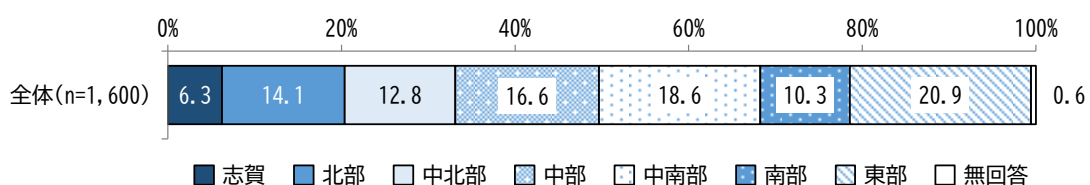
問2	令和7年8月1日時点のあなたの年齢を教えてください。	1つに○
-----------	----------------------------	------

回答者の年齢について、「80歳以上」が16.5%で最も高く、次いで「70～74歳」が12.8%、「60～64歳」が12.3%となっています。

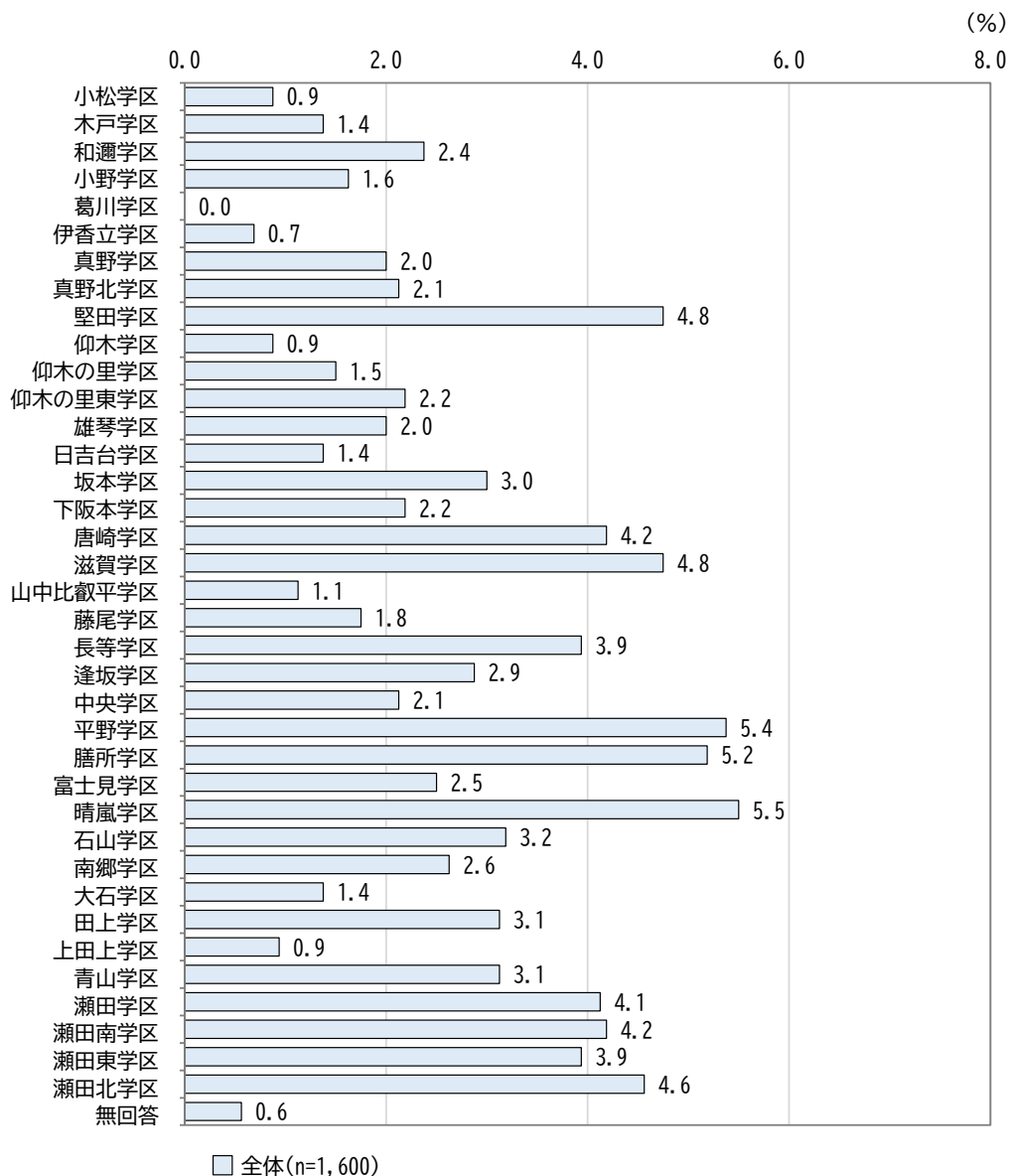


問3	あなたのお住まいの地域を教えてください。	1つに○
-----------	----------------------	------

回答者の居住地域を7つの保健福祉ブロック(以下「ブロック」という。)別にまとめたところ、「東部」が20.9%で最も高く、次いで「中南部」が18.6%、「中部」が16.6%となっています。



また、小学校区別でみると、「晴嵐学区」が5.5%で最も高く、次いで「平野学区」が5.4%、「膳所学区」が5.2%となっています。



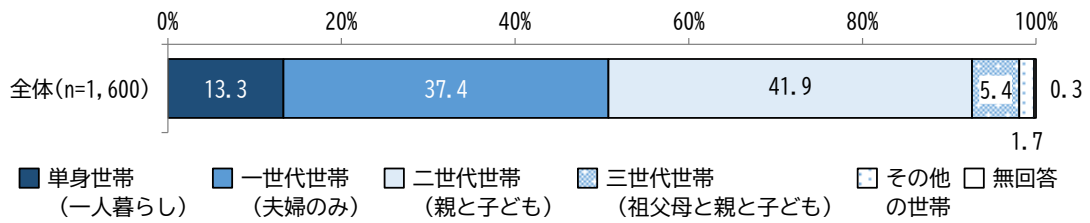
ブロック	小学校区
志賀	小松学区、木戸学区、和邇学区、小野学区
北部	葛川学区、伊香立学区、真野学区、真野北学区、堅田学区、仰木学区、仰木の里学区、仰木の里東学区
中北部	雄琴学区、日吉台学区、坂本学区、下阪本学区、唐崎学区
中部	滋賀学区、山中比叡平学区、藤尾学区、長等学区、逢坂学区、中央学区
中南部	平野学区、膳所学区、富士見学区、晴嵐学区
南部	石山学区、南郷学区、大石学区、田上学区
東部	上田上学区、青山学区、瀬田学区、瀬田南学区、瀬田東学区、瀬田北学区

問4

あなたの同居されているご家族の構成は、次のうちのどれにあたりますか。

1つに○

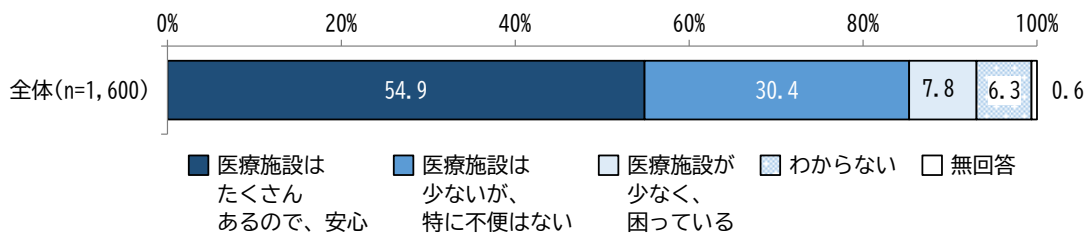
回答者の家族構成について、「二世世代世帯（親と子ども）」が 41.9%で最も高く、次いで「一世代世帯（夫婦のみ）」が 37.4%、「単身世帯（一人暮らし）」が 13.3%となっています。



2. 医療状況について

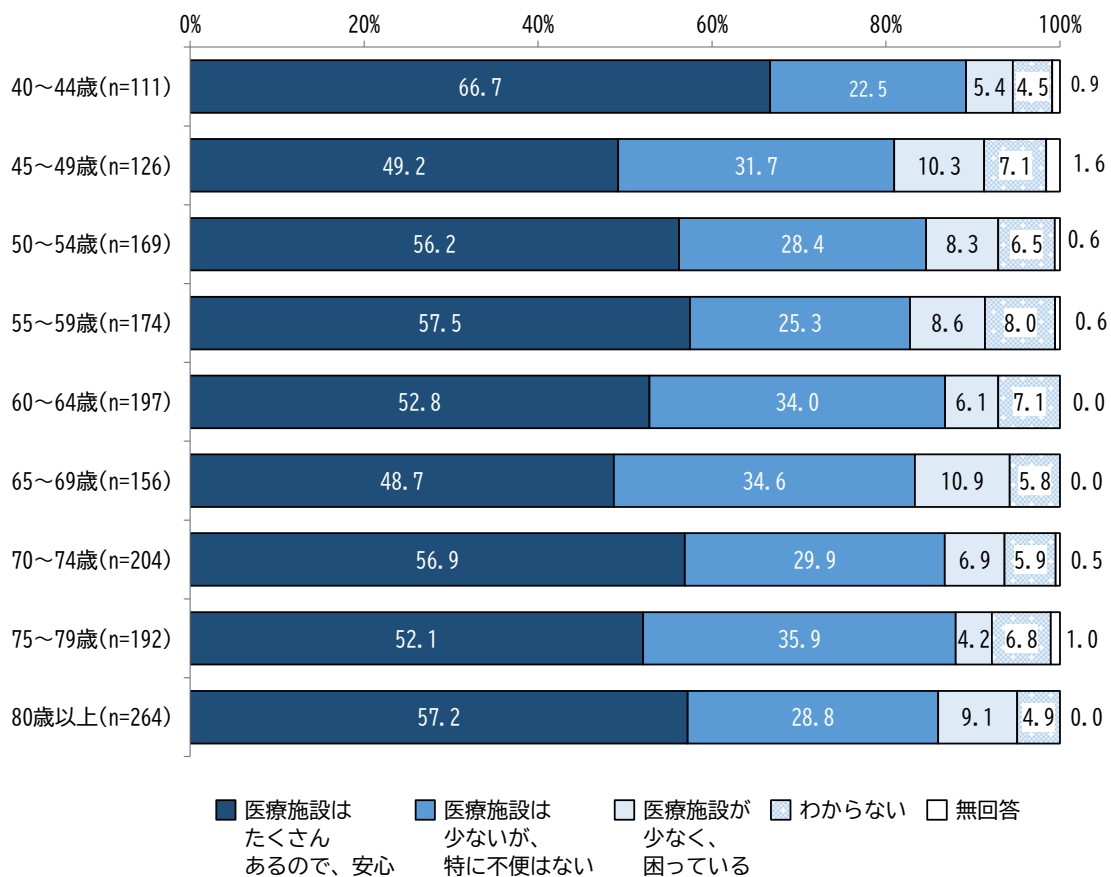
問5	あなたが住んでいる地域の医療施設（病院・診療所）について、どのように感じていますか。	1つに○
-----------	--	------

地域の医療施設（病院・診療所）の状況について、「医療施設はたくさんあるので、安心」が54.9%で最も高く、次いで「医療施設は少ないが、特に不便はない」が30.4%、「医療施設が少なく、困っている」が7.8%となっています。



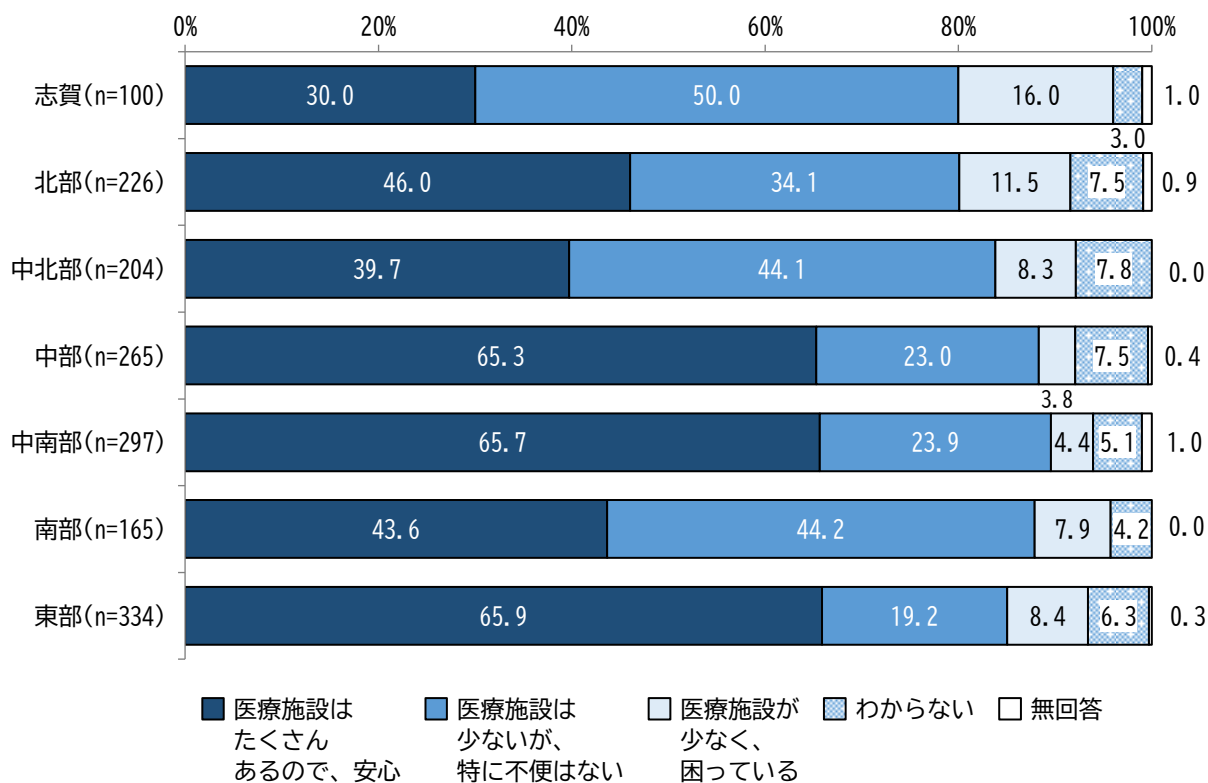
【問5×問2】

年齢別でみると、「医療施設が少なく、困っている」では、「65～69歳」が10.9%で最も高く、次いで「45～49歳」が10.3%、「80歳以上」が9.1%となっています。



【問5×問3】

ブロック別でみると、「医療施設が少なく、困っている」では、「志賀」が16.0%で最も高く、次いで「北部」が11.5%、「東部」が8.4%となっています。

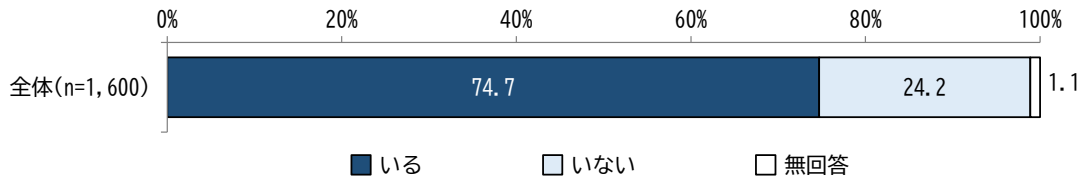


問6

あなたやあなたのご家族が、日常的に気軽に診察を受けたり、健康について相談できる「かかりつけ医」はいますか。

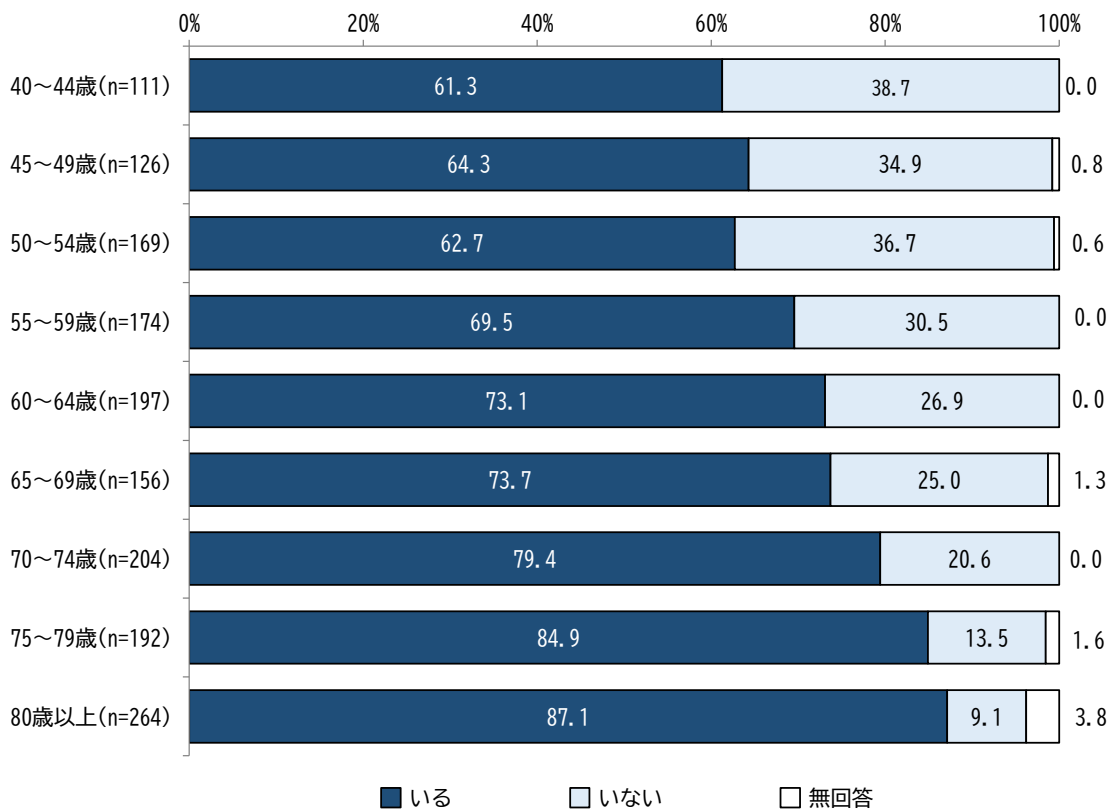
1つに○

かかりつけ医の有無について、「いる」が74.7%、「いない」が24.2%となっています。



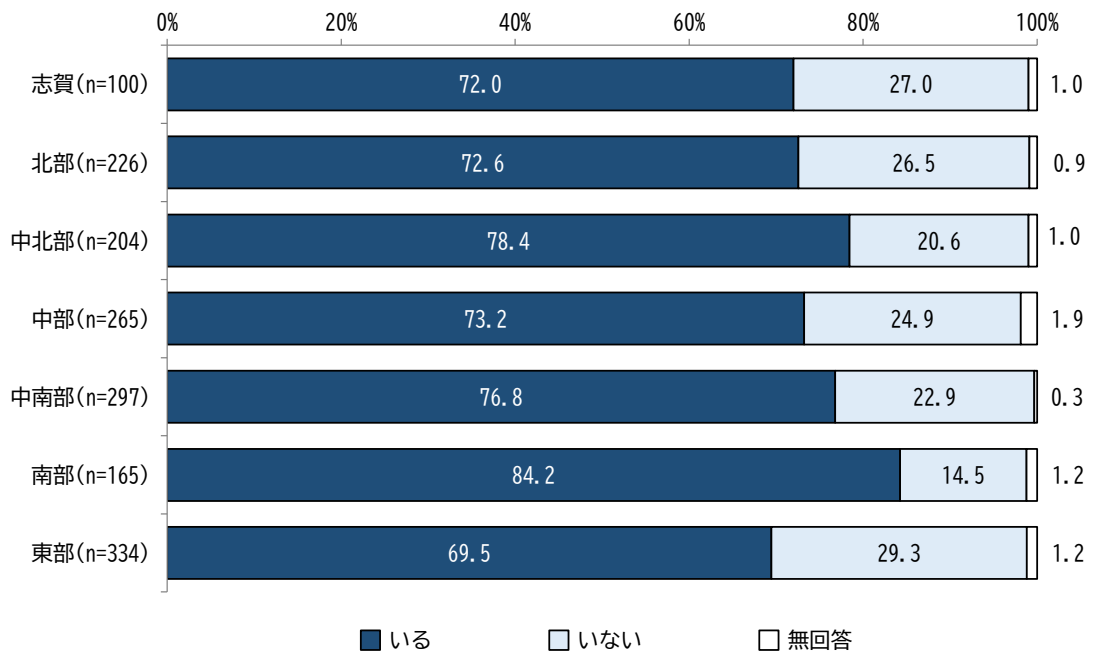
【問6×問2】

年齢別でみると、かかりつけ医が「いる」では、「80歳以上」が87.1%で最も高く、次いで「75～79歳」が84.9%、「70～74歳」が79.4%となっています。



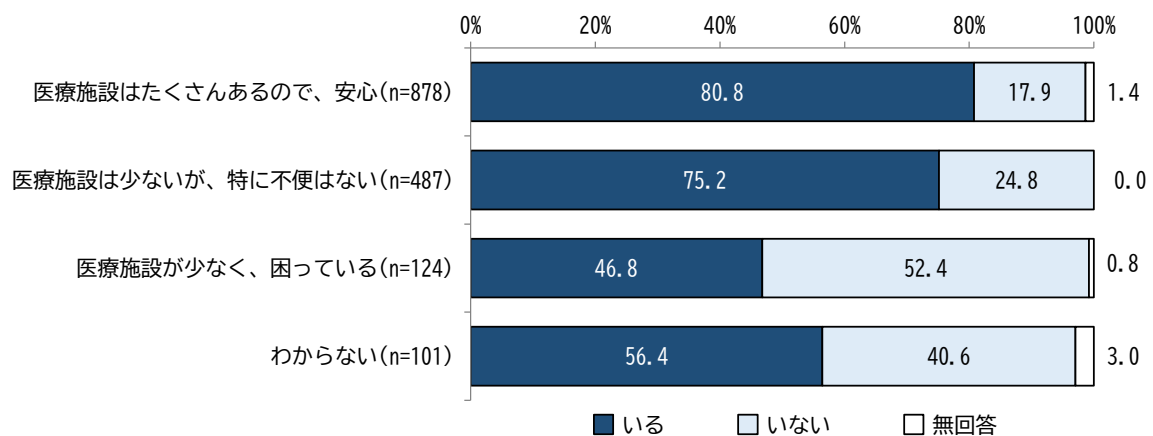
【問6×問3】

ブロック別でみると、かかりつけ医が「いる」では、「南部」が84.2%で最も高く、次いで「中北部」が78.4%、「中南部」が76.8%となっています。



【問6×問5】

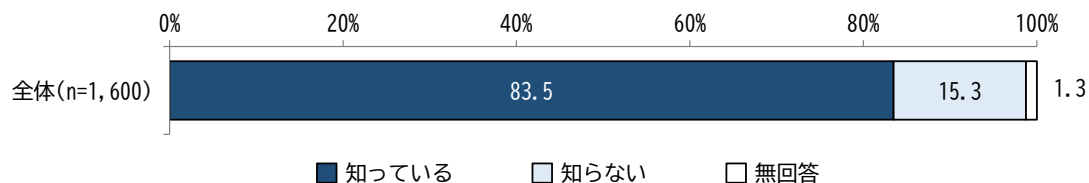
地域の医療施設（病院・診療所）の状況別でみると、かかりつけ医が「いる」では、「医療施設はたくさんあるので、安心」が80.8%で最も高く、次いで「医療施設は少ないが、特に不便はない」が75.2%、「わからない」が56.4%となっています。



3. 在宅医療について

問7	あなたは、「在宅医療」という方法があることを知っていますか。	1つに○
-----------	--------------------------------	------

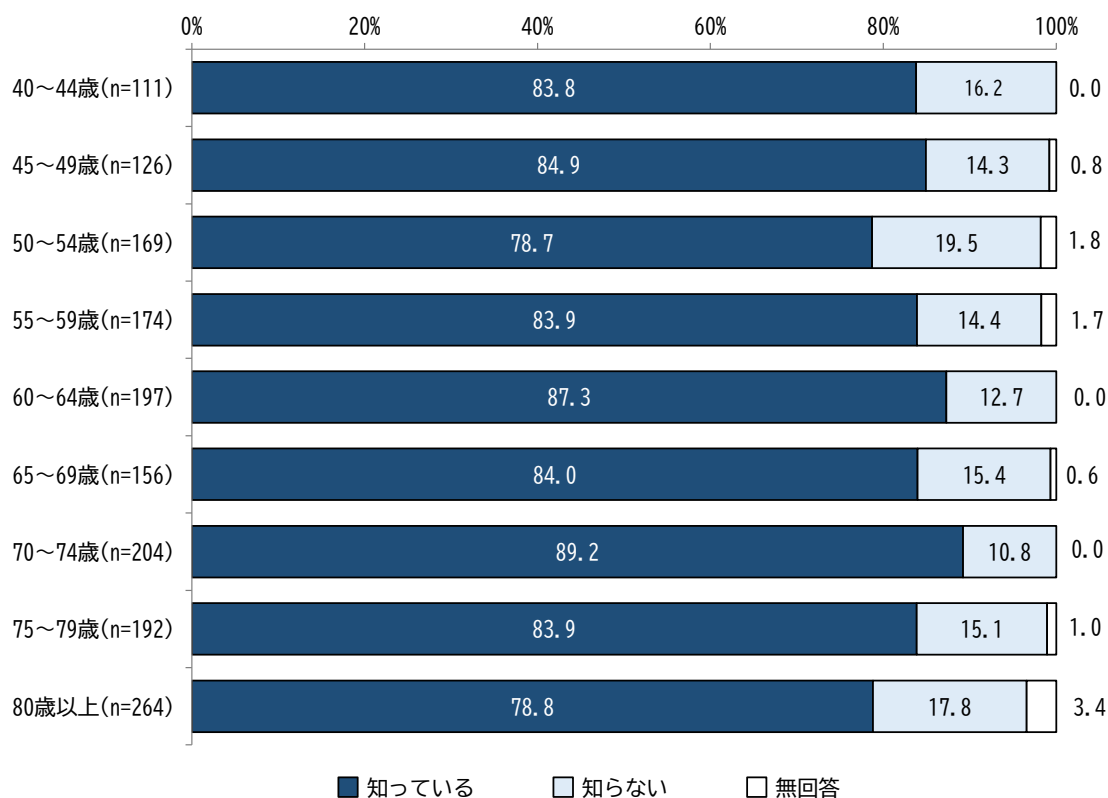
在宅医療の認知度について、「知っている」が83.5%、「知らない」が15.3%となっています。



※ 在宅医療とは、医師や看護師などの訪問を受けながら自宅で治療・療養する医療のあり方のこと。

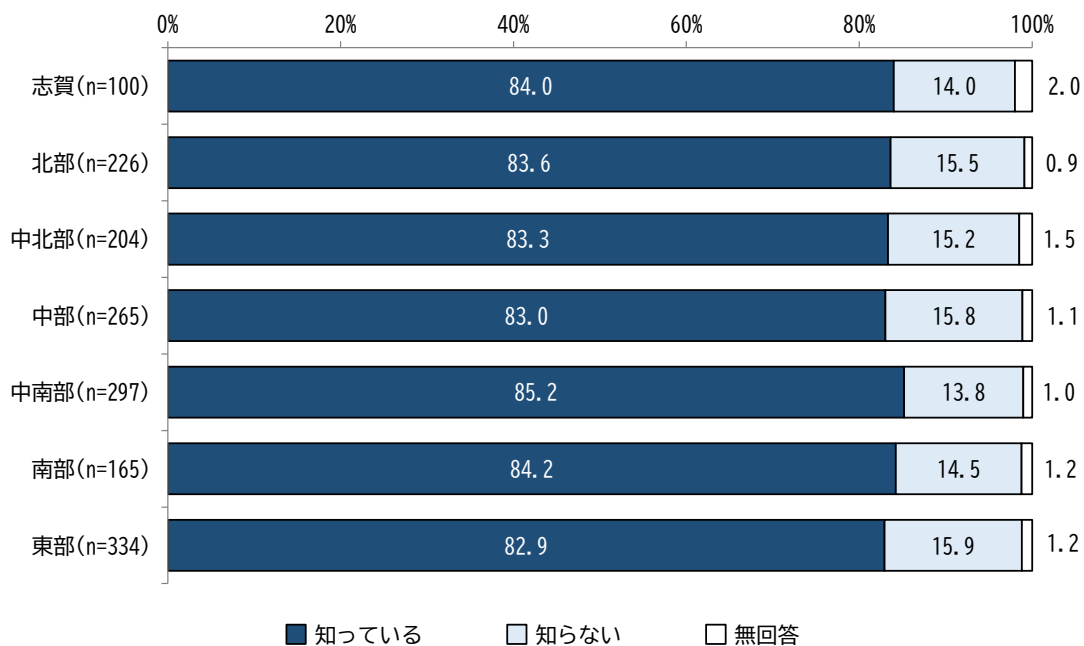
【問7×問2】

年齢別でみると、在宅医療を「知っている」では、「70～74歳」が89.2%で最も高く、次いで「60～64歳」が87.3%、「45～49歳」が84.9%となっています。



【問7×問3】

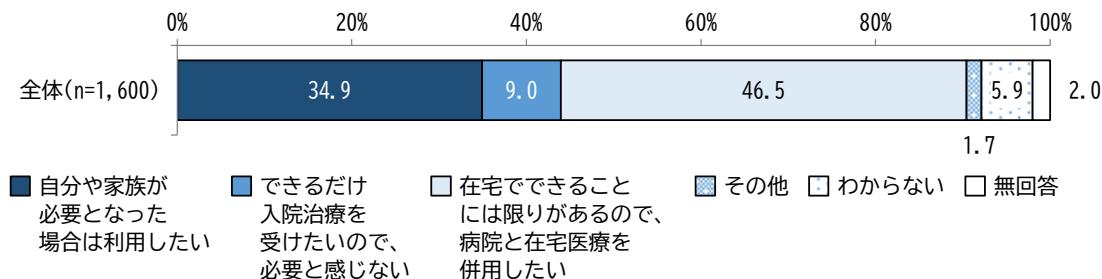
ブロック別でみると、在宅医療を「知っている」では、「中南部」が85.2%で最も高く、次いで「南部」が84.2%、「志賀」が84.0%となっています。



問8 あなたは、在宅医療についてどのように思いますか。

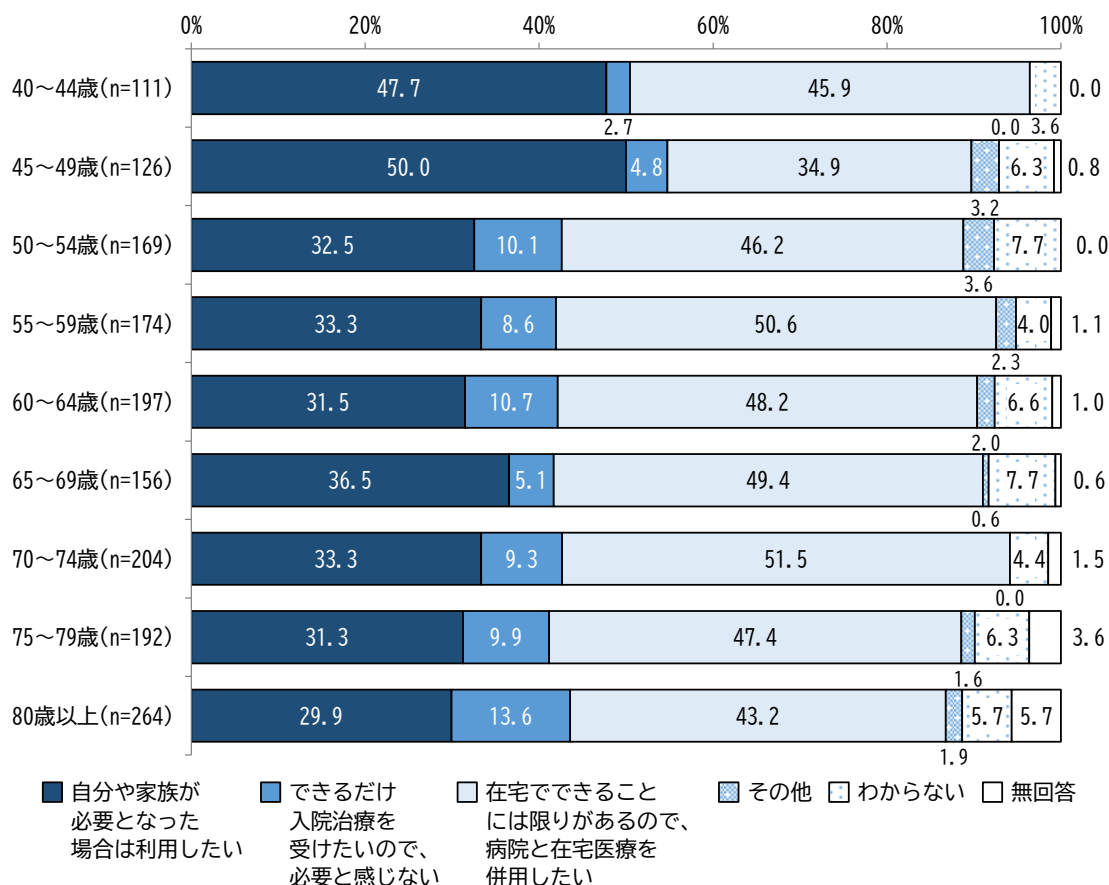
1つに○

在宅医療に対する考え方について、「在宅でできることには限りがあるので、病院と在宅医療を併用したい」が46.5%で最も高く、次いで「自分や家族が必要となった場合は利用したい」が34.9%、「できるだけ入院治療を受けたいので、必要と感じない」が9.0%となっています。



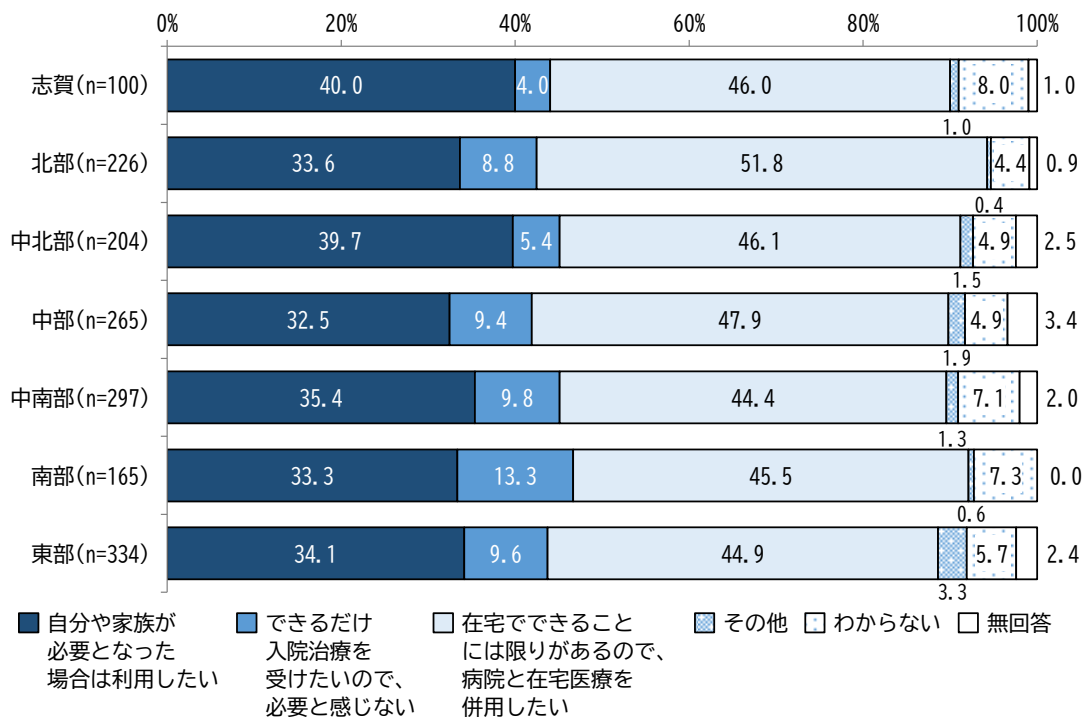
【問8×問2】

年齢別でみると、『利用したい』（「在宅でできることには限りがあるので、病院と在宅医療を併用したい」と「自分や家族が必要となった場合は利用したい」の合計）では、「40～44歳」が93.6%で最も高く、次いで「65～69歳」が85.9%、「45～49歳」が84.9%となっています。



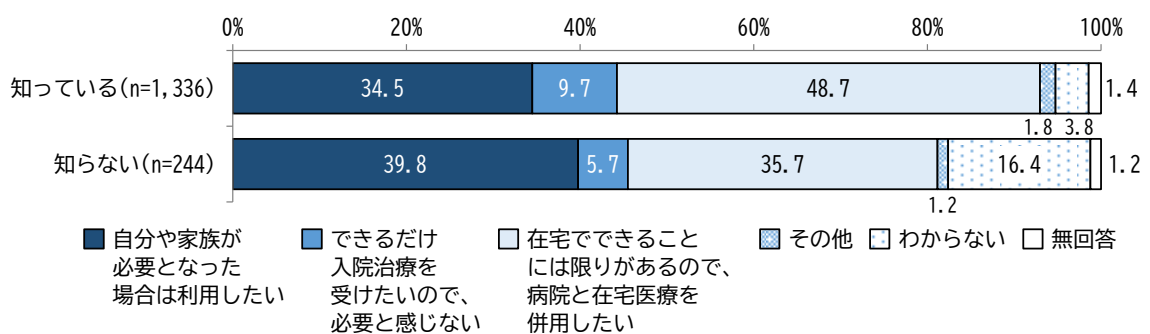
【問8×問3】

ブロック別でみると、『利用したい』（「在宅でできることには限りがあるので、病院と在宅医療を併用したい」と「自分や家族が必要となった場合は利用したい」の合計）では、「志賀」が86.0%で最も高く、次いで「中北部」が85.8%、「北部」が85.4%となっています。



【問8×問7】

在宅医療の認知度別でみると、在宅医療を「知っている」では「在宅でできることには限りがあるので、病院と在宅医療を併用したい」が48.7%で最も高く、在宅医療を「知らない」では「自分や家族が必要となった場合は利用したい」が39.8%で最も高くなっています。

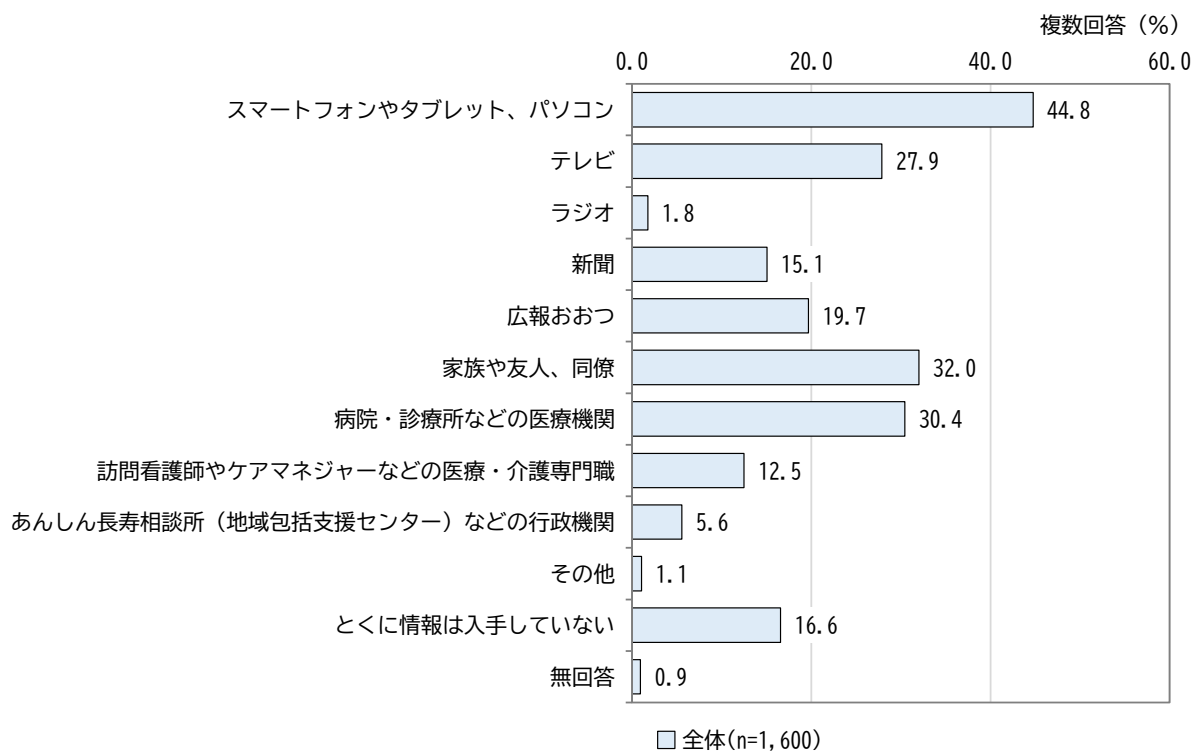


問9

あなたは、医療や自宅での療養に関する情報を、どこから入手していますか。

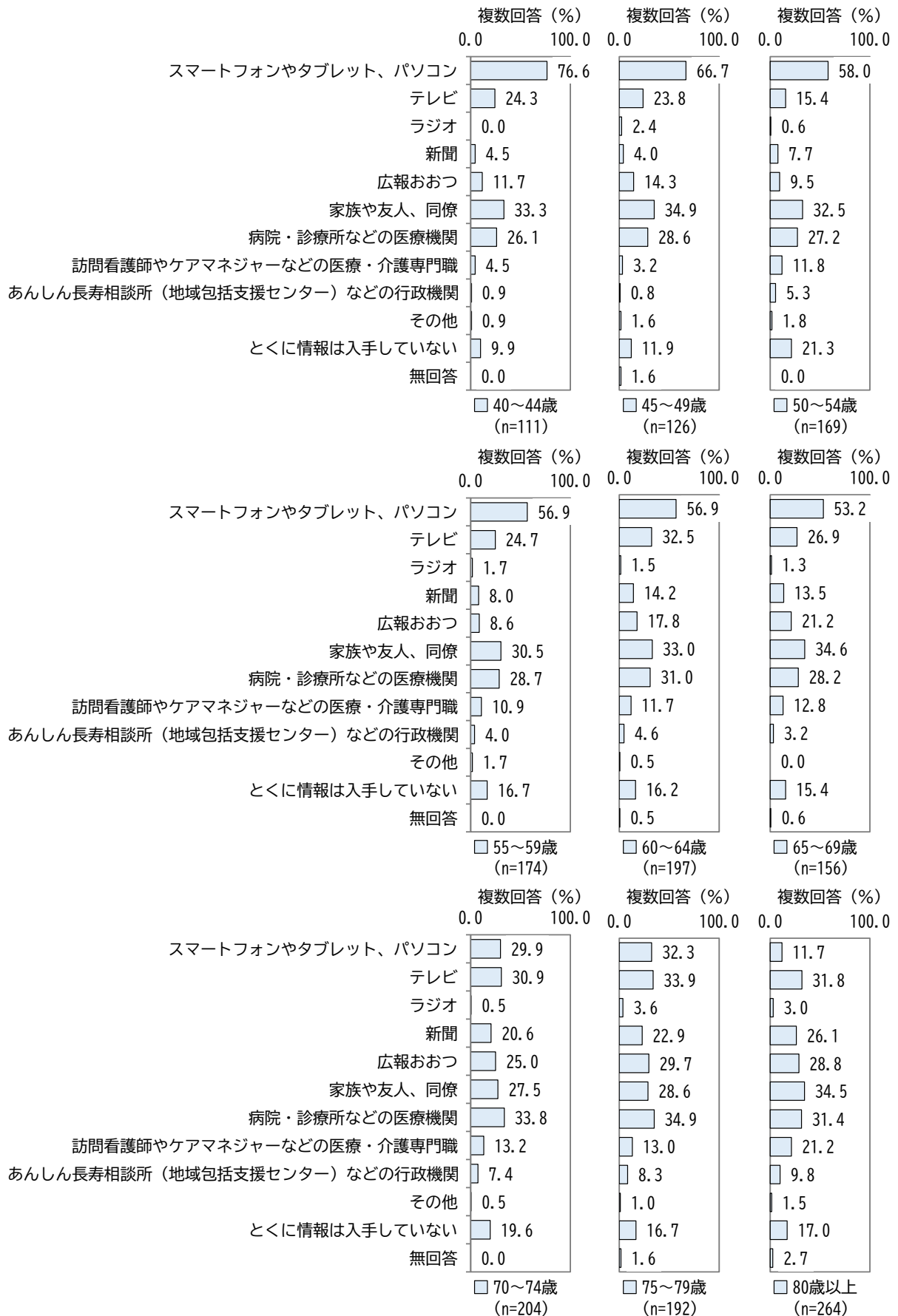
あてはまるもの全てに○

医療や自宅での療養に関する情報の入手先について、「スマートフォンやタブレット、パソコン」が44.8%で最も高く、次いで「家族や友人、同僚」が32.0%、「病院・診療所などの医療機関」が30.4%となっています。



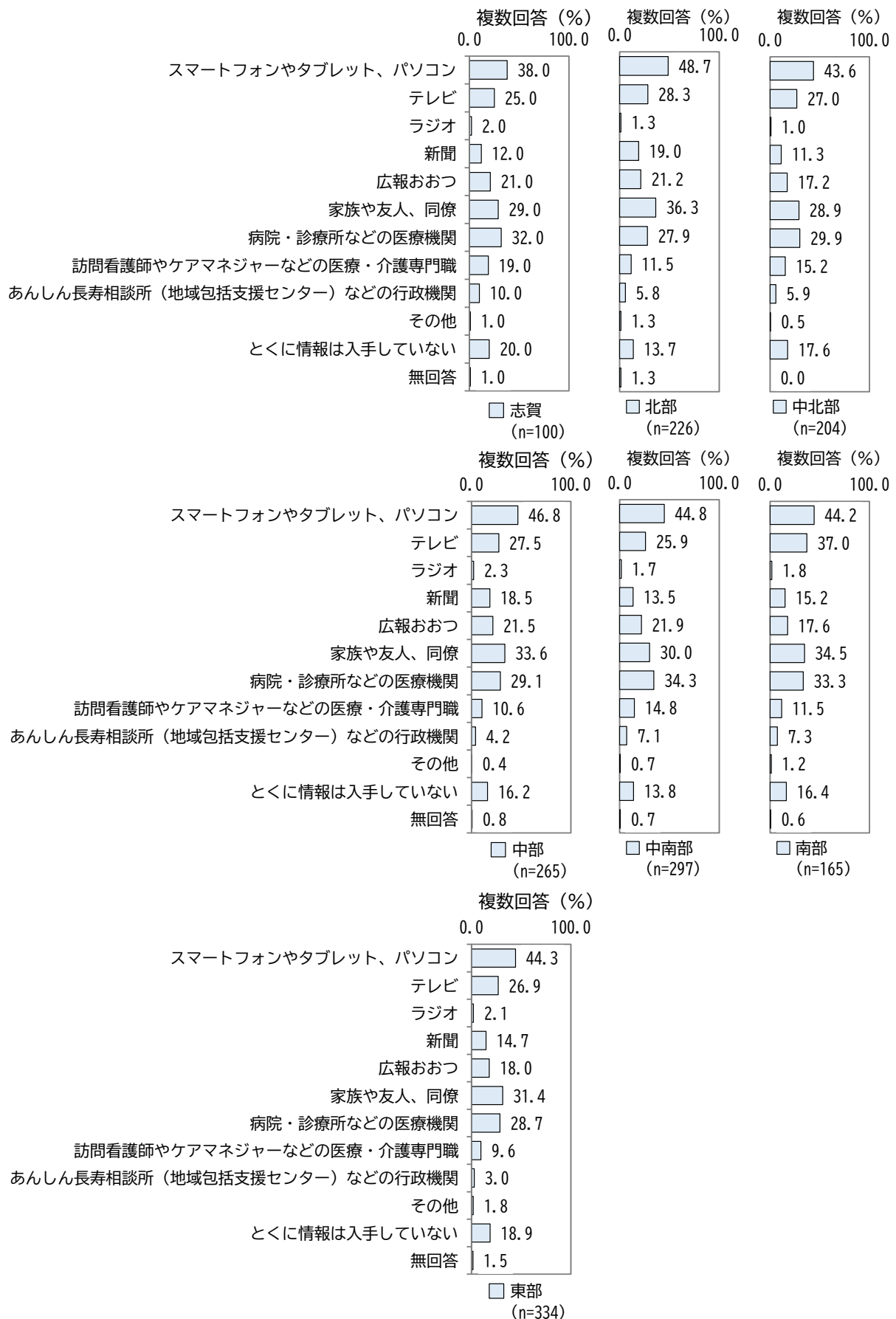
【問9×問2】

年齢別でみると、70歳までは「スマートフォンやタブレット、パソコン」が最も高くなっていますが、「70～74歳」「75～79歳」では「病院・診療所などの医療機関」、「80歳以上」では「テレビ」が最も高くなっています。



【問9×問3】

ブロック別でみると、すべてのブロックにおいて、「スマートフォンやタブレット、パソコン」が最も高くなっています。

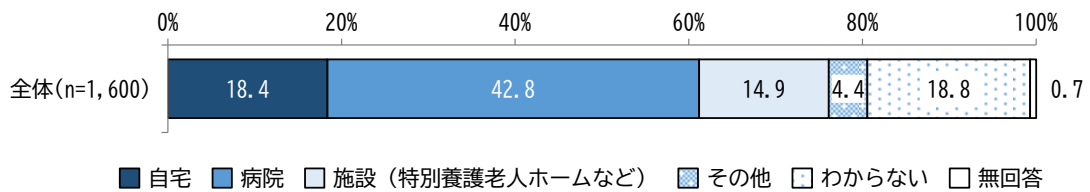


問 10

あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の療養が必要となった場合、どこで療養を希望しますか。

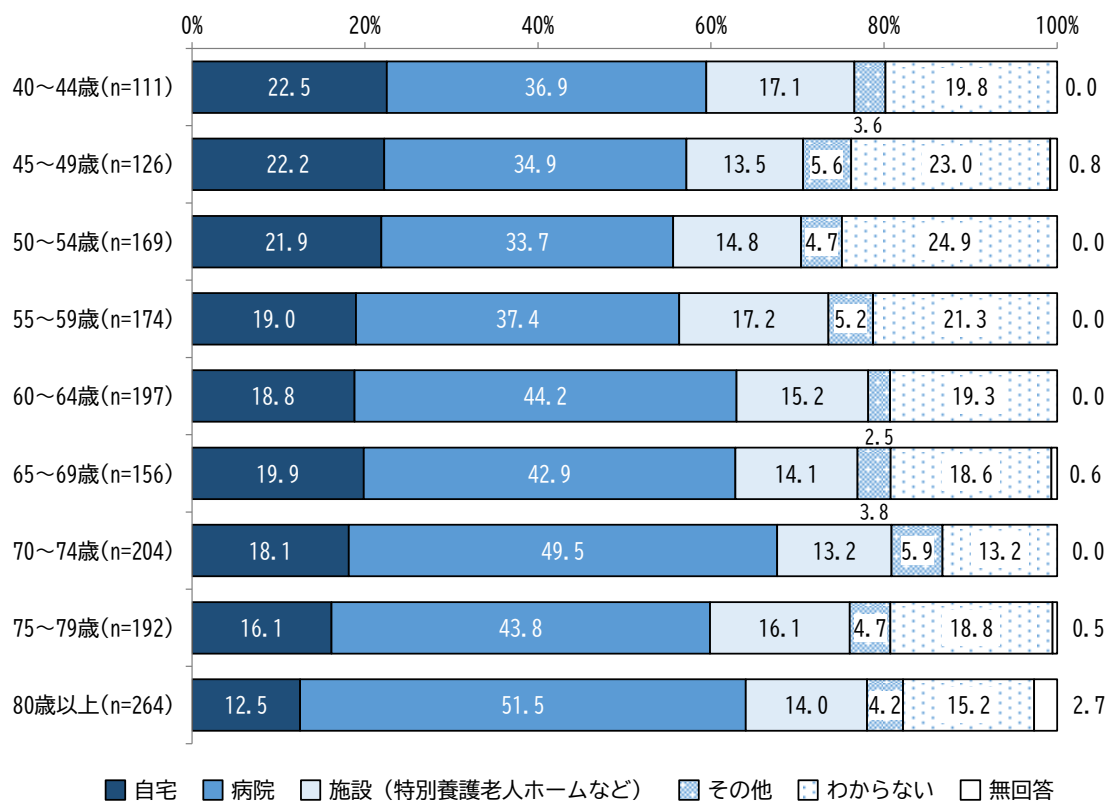
1つに○

自身が脳卒中の後遺症やがんなどで長期の療養が必要となった場合の療養先について、「病院」が42.8%で最も高く、次いで「わからない」が18.8%、「自宅」が18.4%となっています。



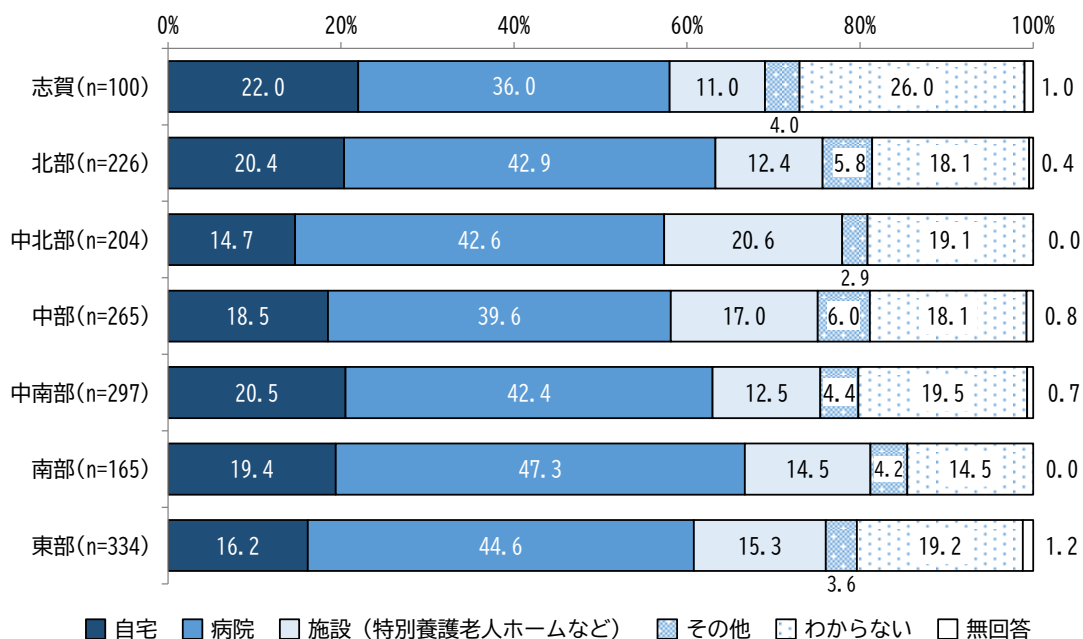
【問 10×問 2】

年齢別で見ると、すべての年齢において「病院」が最も高くなっています。



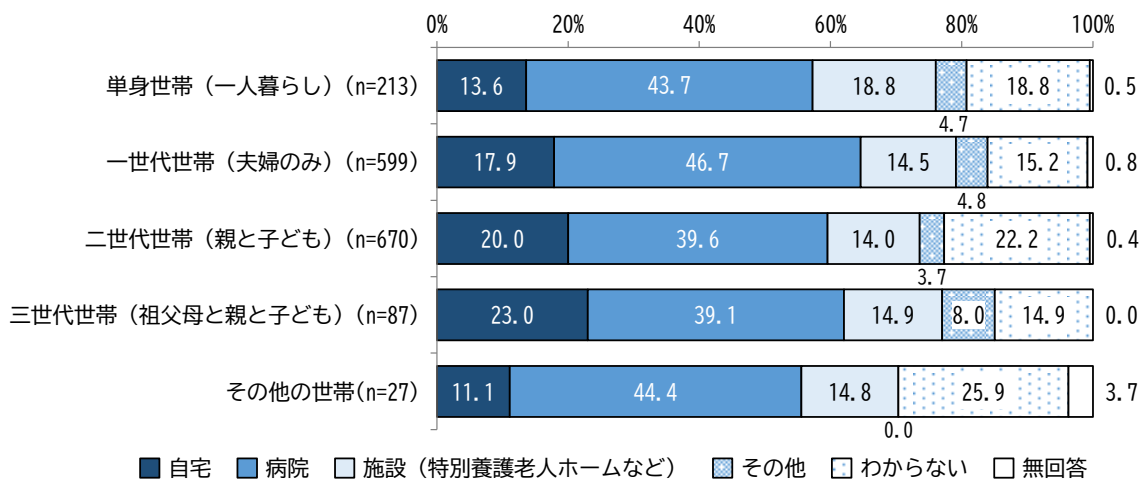
【問 10×問 3】

ブロック別でみると、すべてのブロックにおいて「病院」が最も高くなっています。



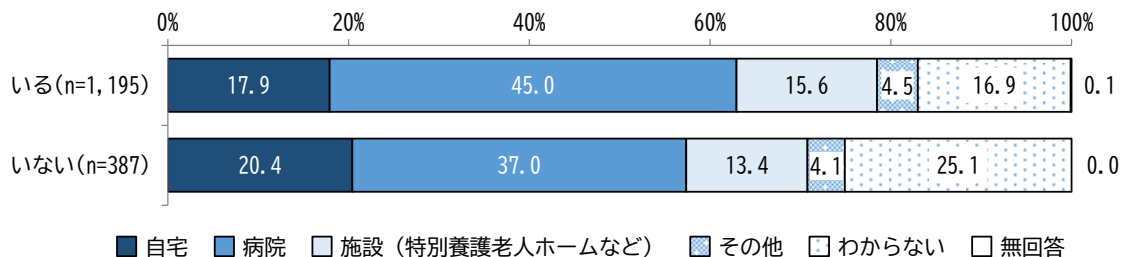
【問 10×問 4】

家族構成別でみると、すべての家族構成において「病院」が最も高くなっていますが、世帯人数が多くなるほど「自宅」の割合が高くなっています。



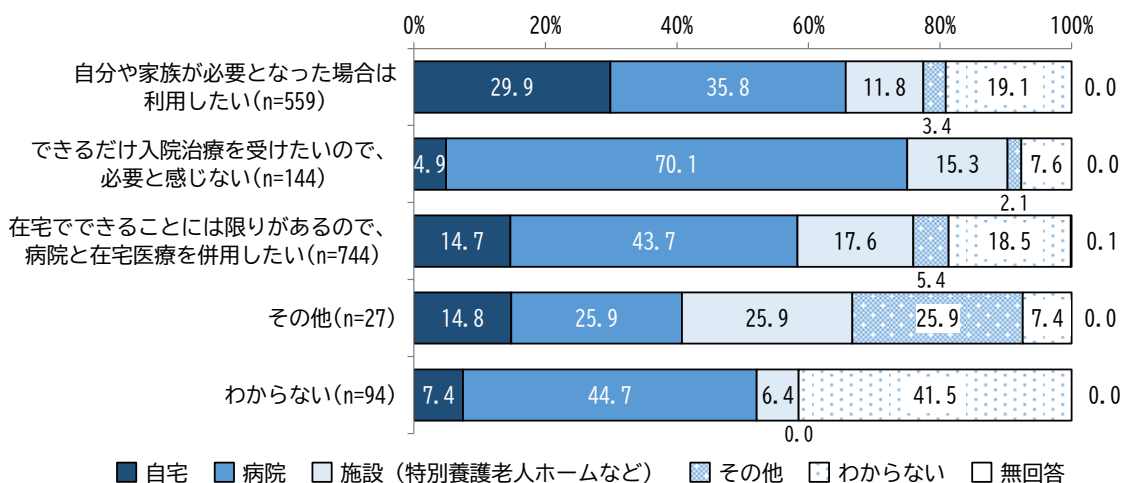
【問 10×問 6】

かかりつけ医の有無別で見ると、どちらとも「病院」が最も高く、「いる」が 45.0%、「いない」が 37.0% となっています。



【問 10×問 8】

在宅医療に対する考え方別で見ると、すべての考え方において「病院」が最も高くなっていますが、「できるだけ入院治療を受けたいので、必要と感じない」が 70.1% で最も高くなっています。

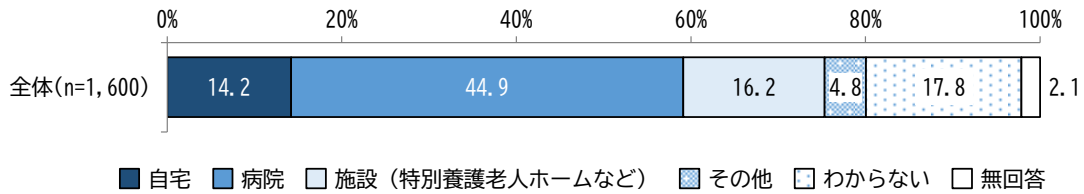


問 11

あなたは、あなたのご家族が脳卒中の後遺症やがんなどで長期の療養が必要となった場合、どこでの療養を希望しますか。

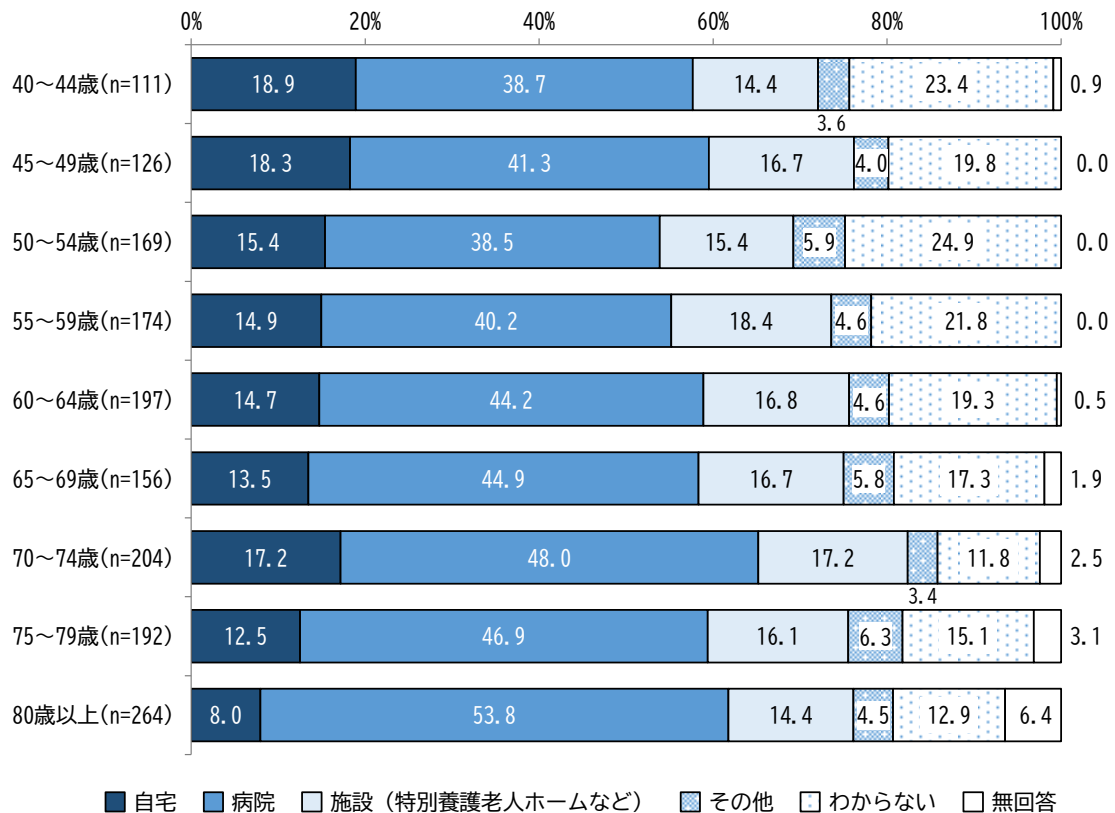
1つに○

家族が脳卒中の後遺症やがんなどで長期の療養が必要となった場合の療養先について、「病院」が44.9%で最も高く、次いで「わからない」が17.8%、「施設（特別養護老人ホームなど）」が16.2%となっています。



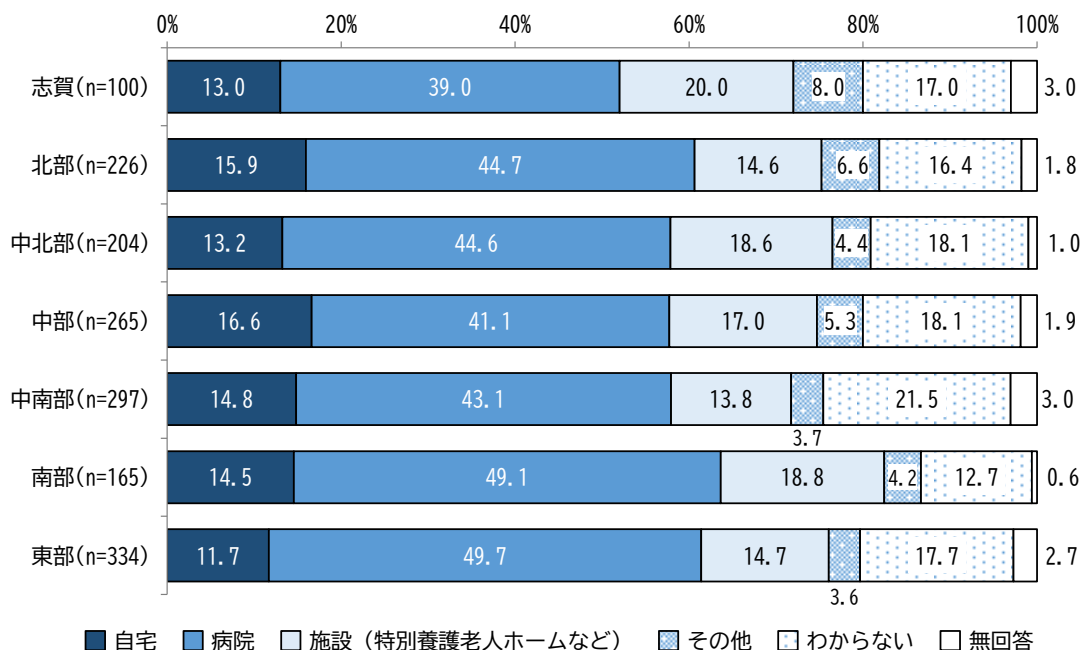
【問 11×問 2】

年齢別でみると、すべての年齢において「病院」が最も高くなっています。



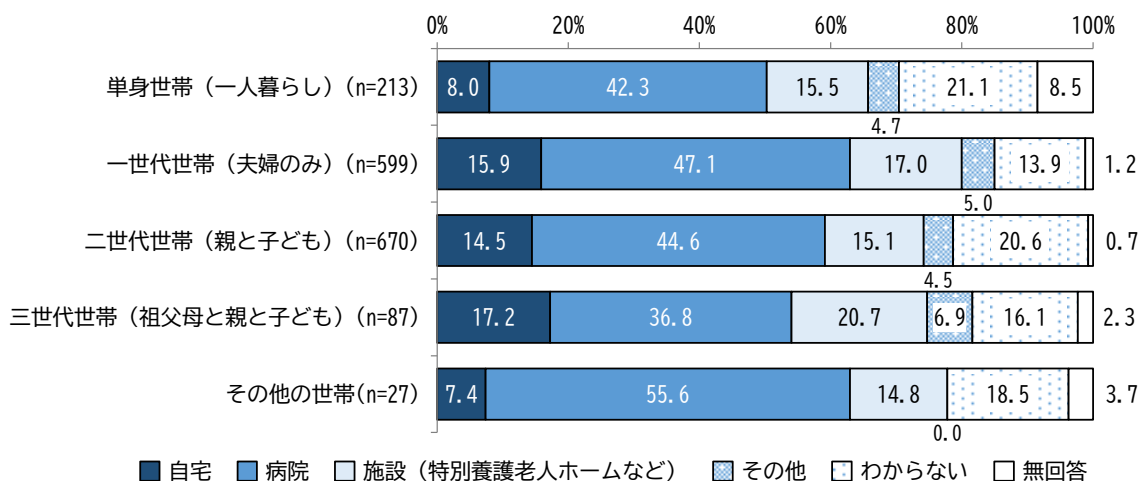
【問 11×問 3】

ブロック別でみると、すべてのブロックにおいて「病院」が最も高くなっています。



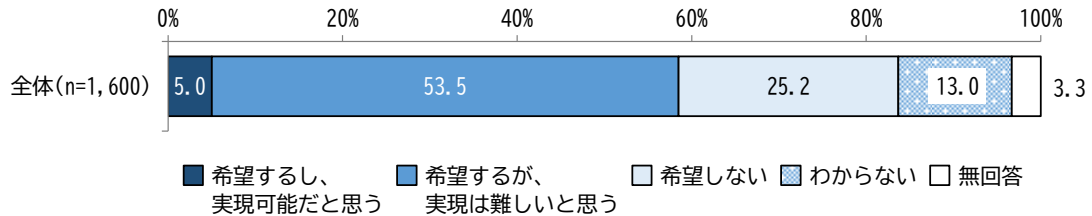
【問 11×問 4】

家族構成別でみると、すべての家族構成において「病院」が最も高くなっていますが、問 10 (自分の場合) と比較すると、一世代・二世代・三世代世帯では、「自宅」が減少し、「施設 (特別養護老人ホームなど)」が増加しています。



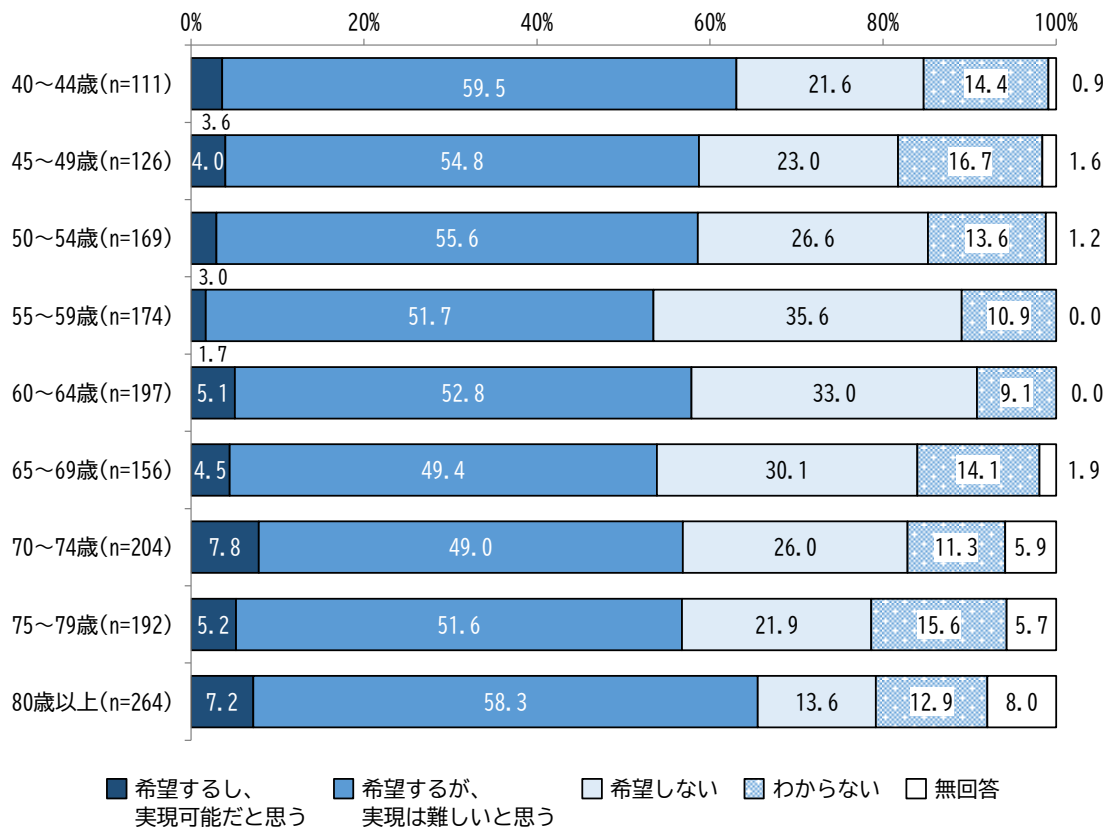
問 12 あなたが療養生活をする場合、自宅で最期まで療養することを希望しますか。また、実現可能だと思いますか。 1つに○

療養生活をする場合に自宅で最期まで療養することを希望するかについて、「希望するが、実現は難しいと思う」が53.5%で最も高く、次いで「希望しない」が25.2%、「わからない」が13.0%となっています。



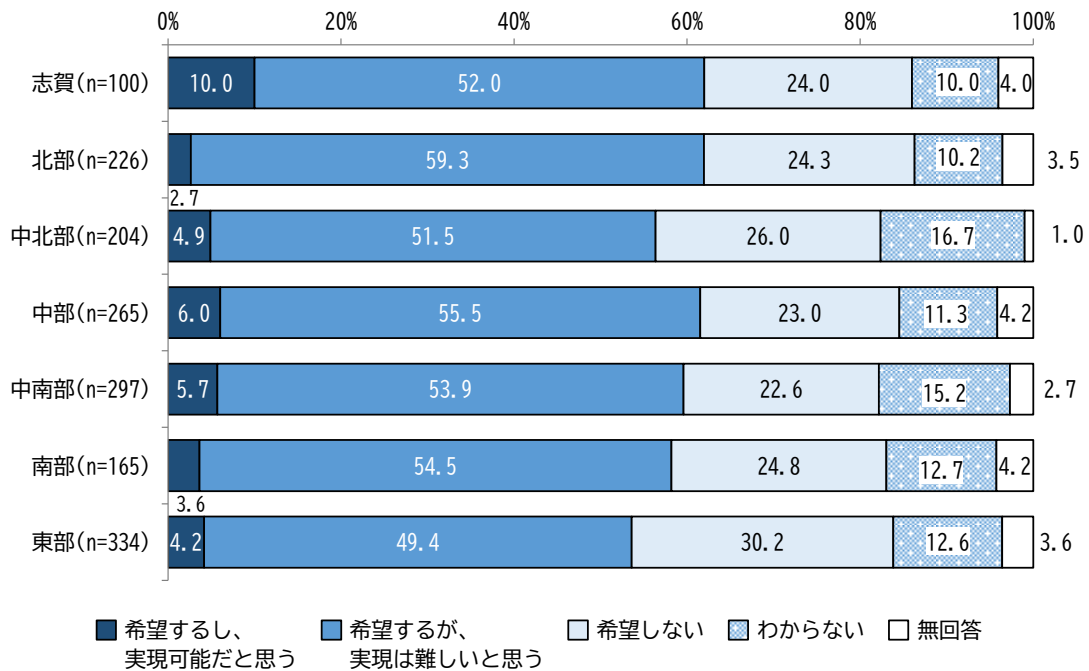
【問 12×問 2】

年齢別で見ると、すべての年齢において「希望するが、実現は難しいと思う」が最も高くなっています。



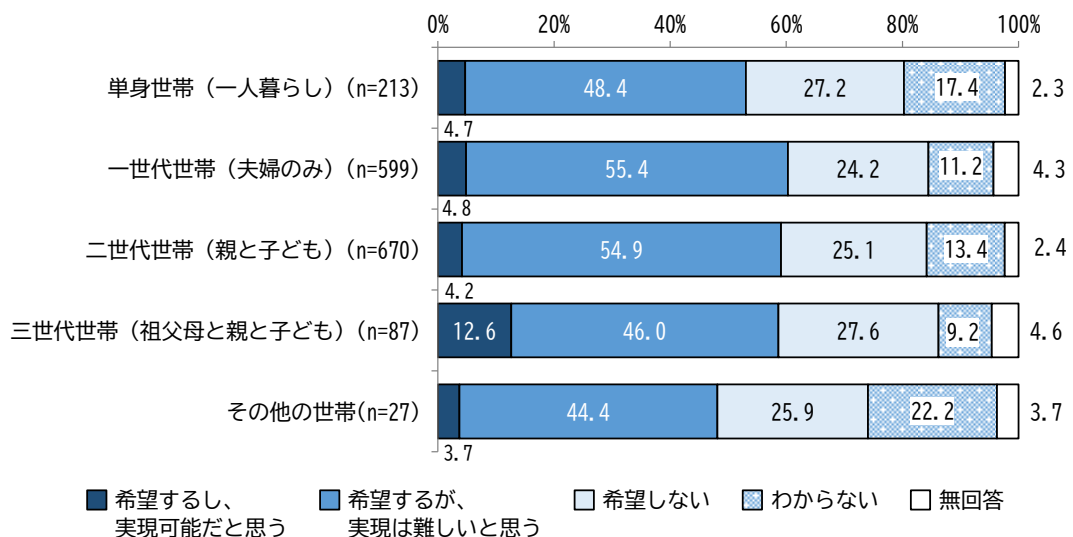
【問 12×問 3】

ブロック別でみると、すべてのブロックにおいて「希望するが、実現は難しいと思う」が最も高くなっています。



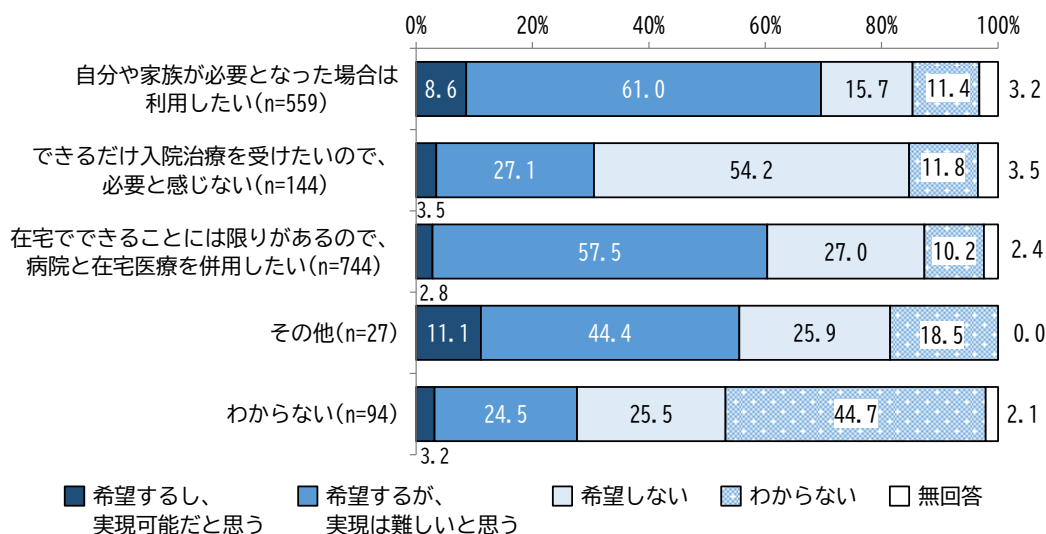
【問 12×問 4】

家族構成別でみると、すべての家族構成において「希望するが、実現は難しいと思う」が最も高くなっていますが、「希望するし、実現可能だと思う」では「三世代世帯（祖父母と親と子ども）」が最も高く12.6%となっています。



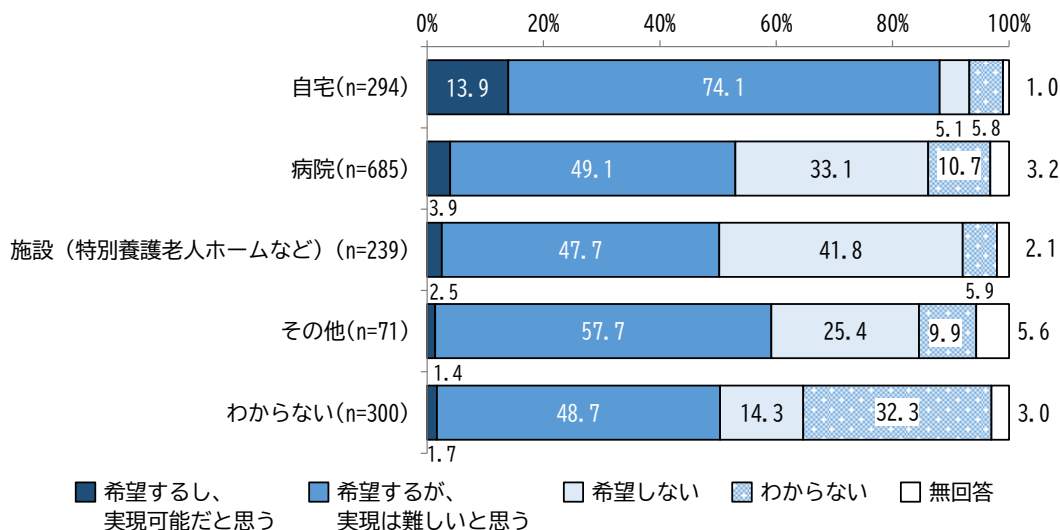
【問 12×問 8】

在宅医療の考え方別でみると、「希望するが、実現は難しいと思う」では「自分や家族が必要となった場合は利用したい」が61.0%で最も高くなっていますが、「希望しない」では「できるだけ入院治療を受けたいので、必要と感じない」が54.2%で最も高くなっています。



【問 12×問 10】

療養を希望する場所別でみると、すべての希望場所において「希望するが、実現は難しいと思う」が最も高くなっていますが、「自宅」が74.1%と最も高くなっています。



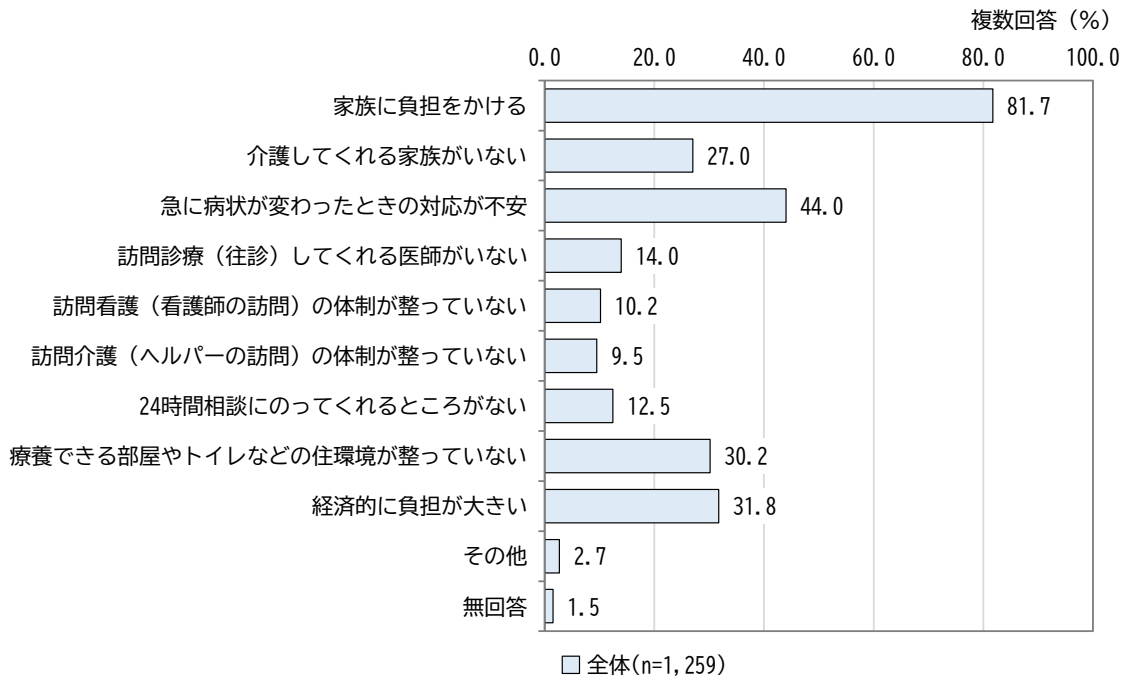
〈問 12 で「希望するが、実現は難しいと思う」または「希望しない」とお答えになった方におたずねします。〉

問 13

自宅で最期まで療養することを希望しない又は実現が難しいと思う理由は何ですか。

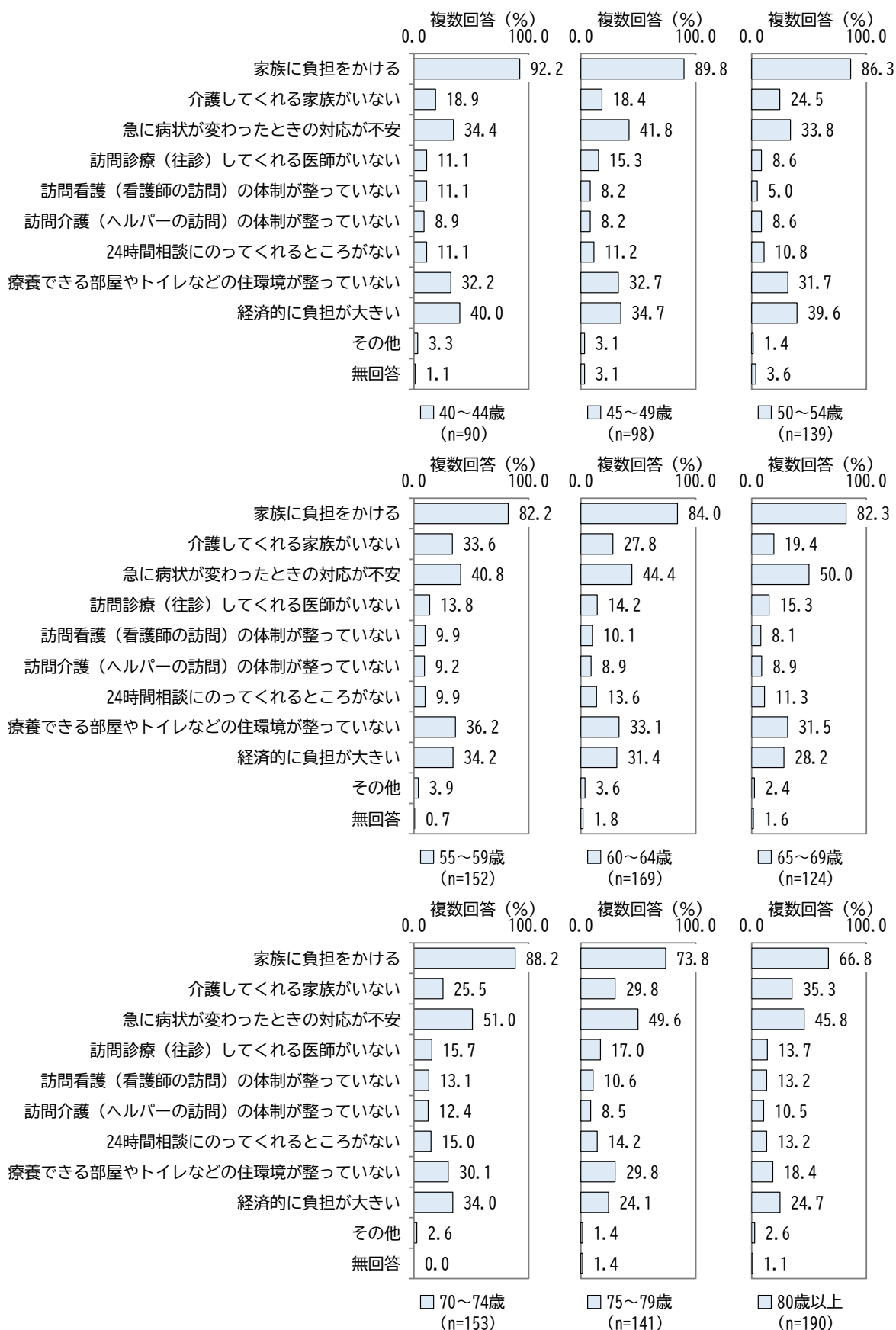
あてはまるもの全てに○

自宅で最期まで療養することを希望しない又は実現が難しいと思う人に、その理由について聞いたところ、「家族に負担をかける」が 81.7%で最も高く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安」が 44.0%、「経済的に負担が大きい」が 31.8%となっています。



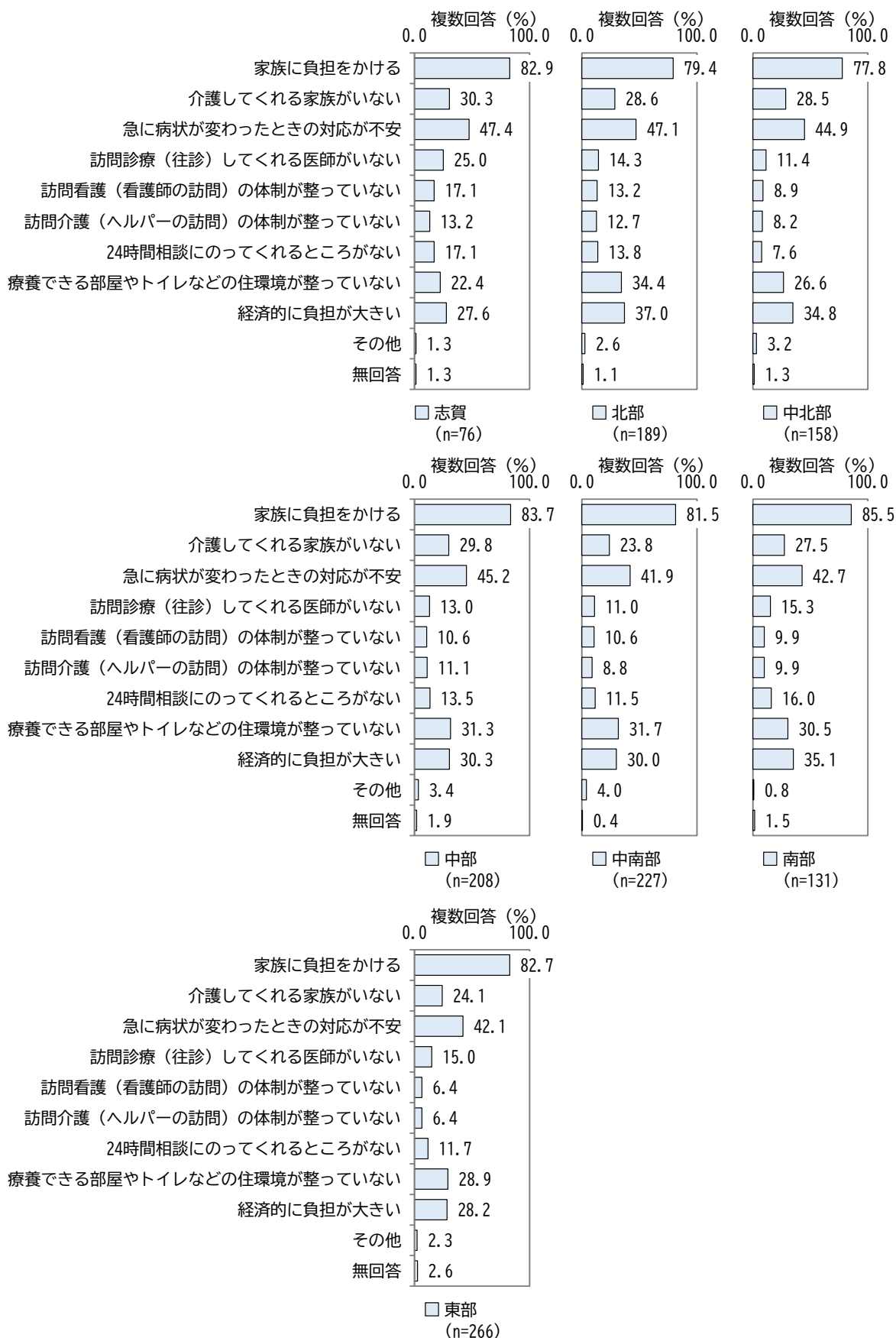
【問 13×問 2】

年齢別でみると、すべての年齢において「家族に負担をかける」が最も高くなっています。



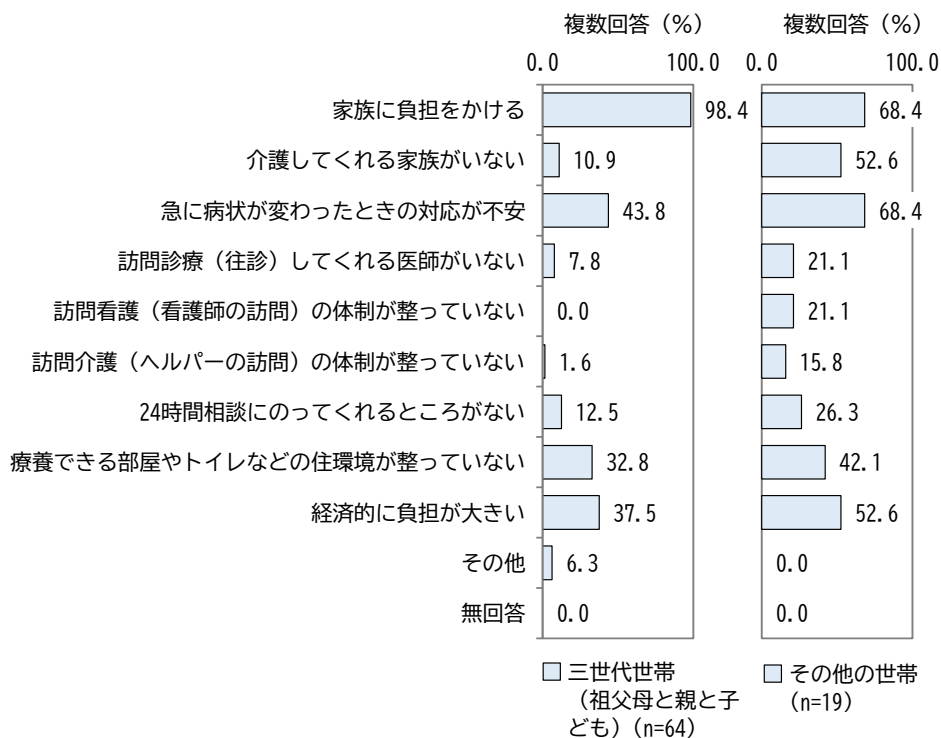
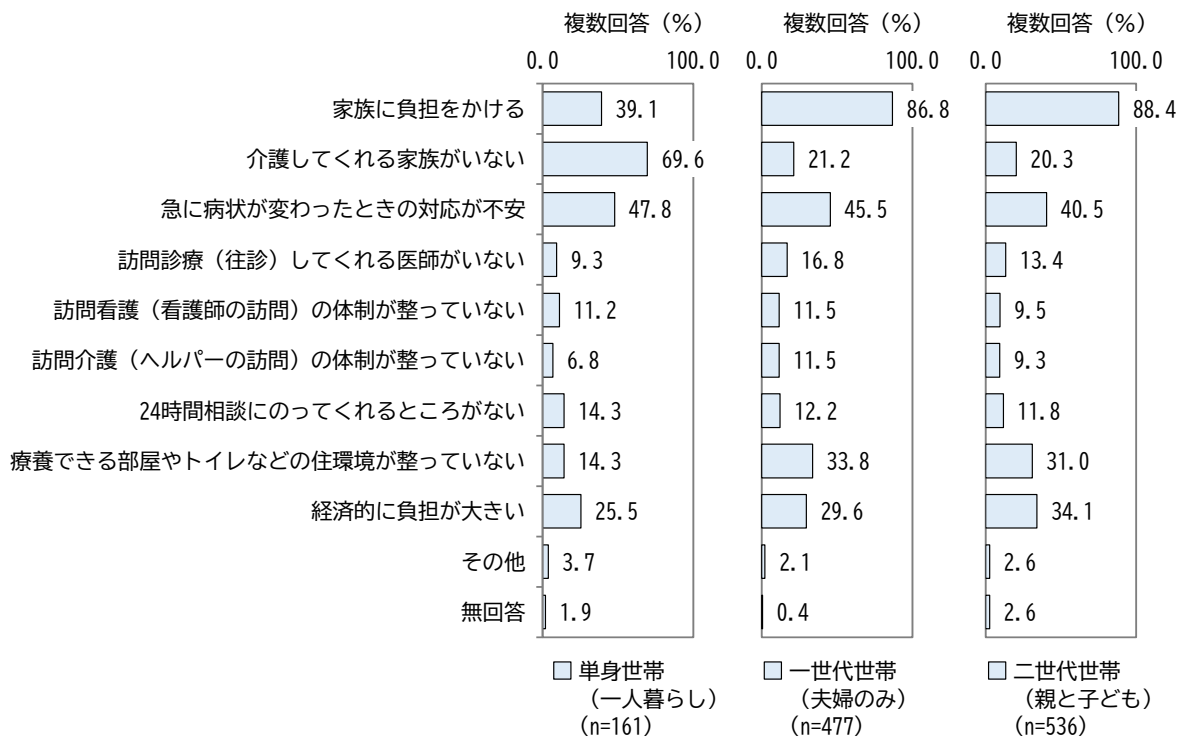
【問13×問3】

ブロック別でみると、すべてのブロックにおいて「家族に負担をかける」が最も高くなっています。



【問 13×問 4】

家族構成別で見ると、「一世代世帯（夫婦のみ）」「二世帯世帯（親と子ども）」「三世帯世帯（祖父母と親と子ども）」では「家族に負担をかける」が最も高くなっていますが、「単身世帯（一人暮らし）」では「介護してくれる家族がない」が69.6%で最も高くなっています。

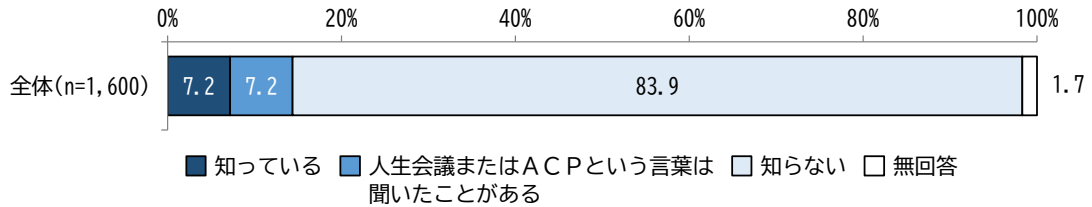


問 14

あなたは、「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」について知っていますか。

あてはまるもの全てに○

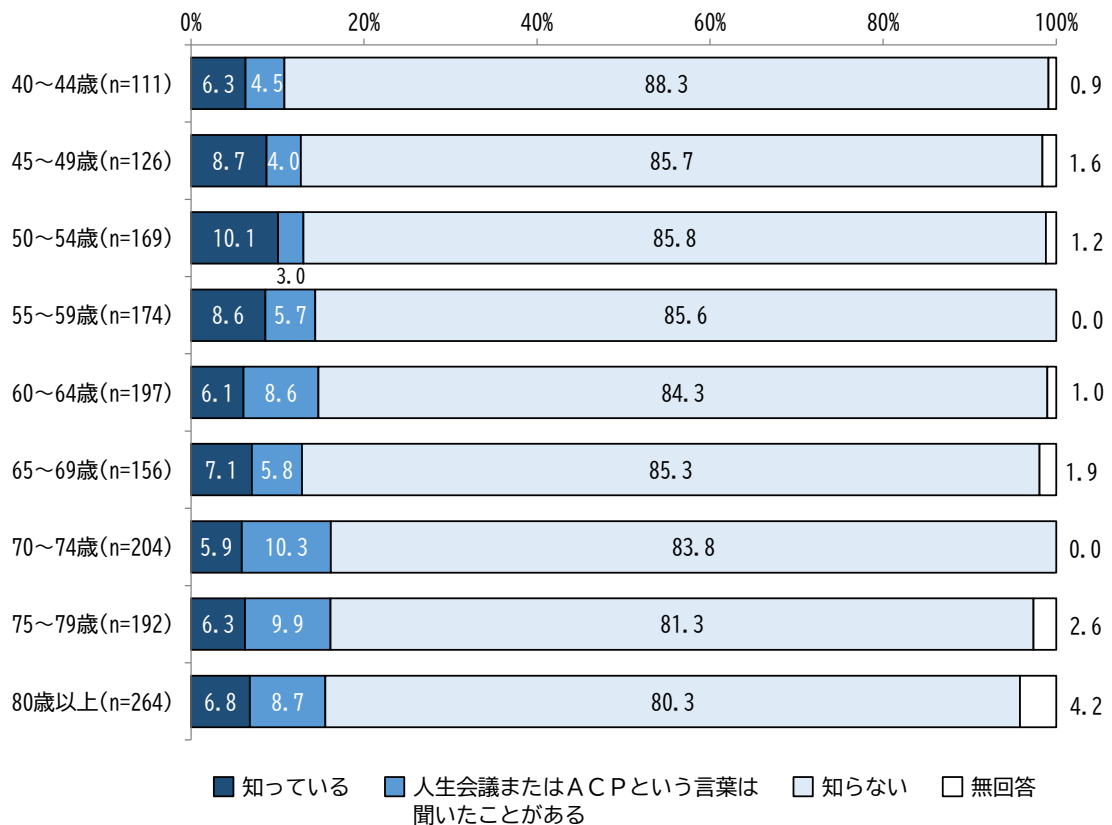
人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）の認知度について、「知らない」が83.9%で最も高く、「知っている」「人生会議またはACPという言葉は聞いたことがある」がそれぞれ7.2%となっています。



※ 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）とは、もしもの時のために、自分が望む医療やケアについて前もって考え、その希望や思いを家族や医療・介護の専門職など信頼できる人と繰り返し話し合い、共有する取組のこと。

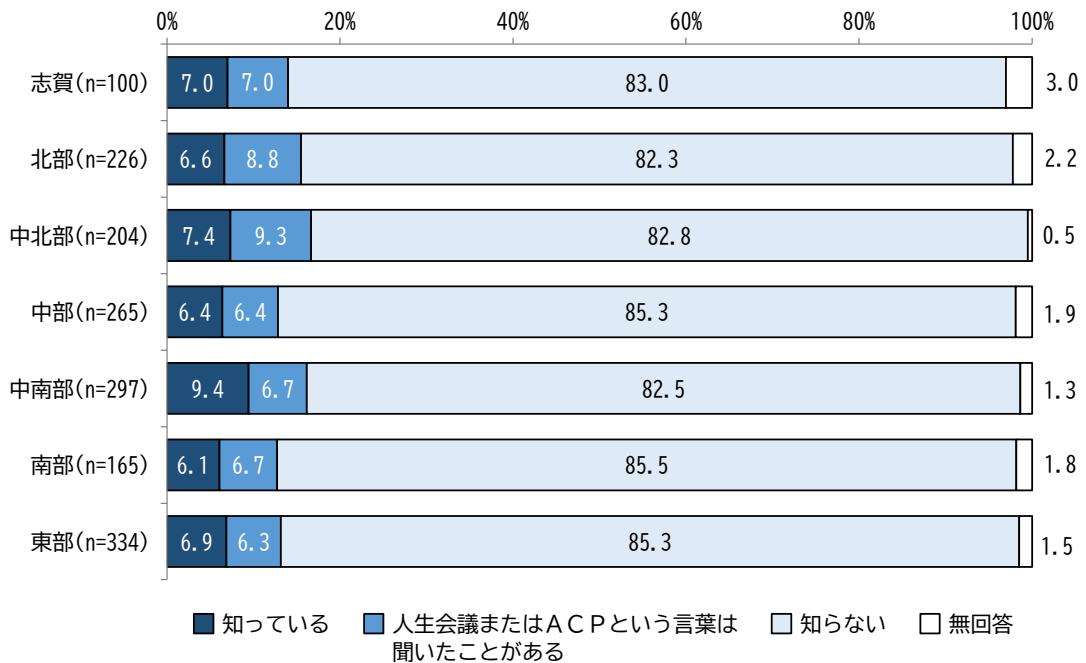
【問 14×問 2】

年齢別でみると、すべての年齢において「知らない」が最も高くなっていますが、「知っている」では「50～54歳」が10.1%で最も高くなっています。



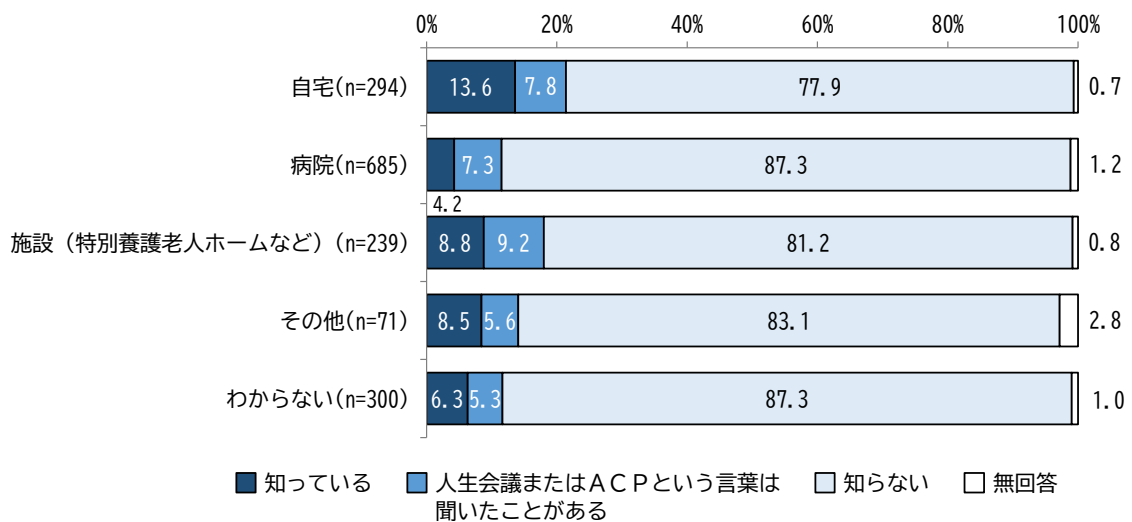
【問 14×問 3】

ブロック別でみると、すべてのブロックにおいて「知らない」が最も高くなっていますが、「知っている」では「中南部」が9.4%で最も高くなっています。



【問 14×問 10】

療養を希望する場所別でみると、すべての希望場所において「知らない」が最も高くなっていますが、「知っている」では「自宅」が13.6%で最も高くなっています。

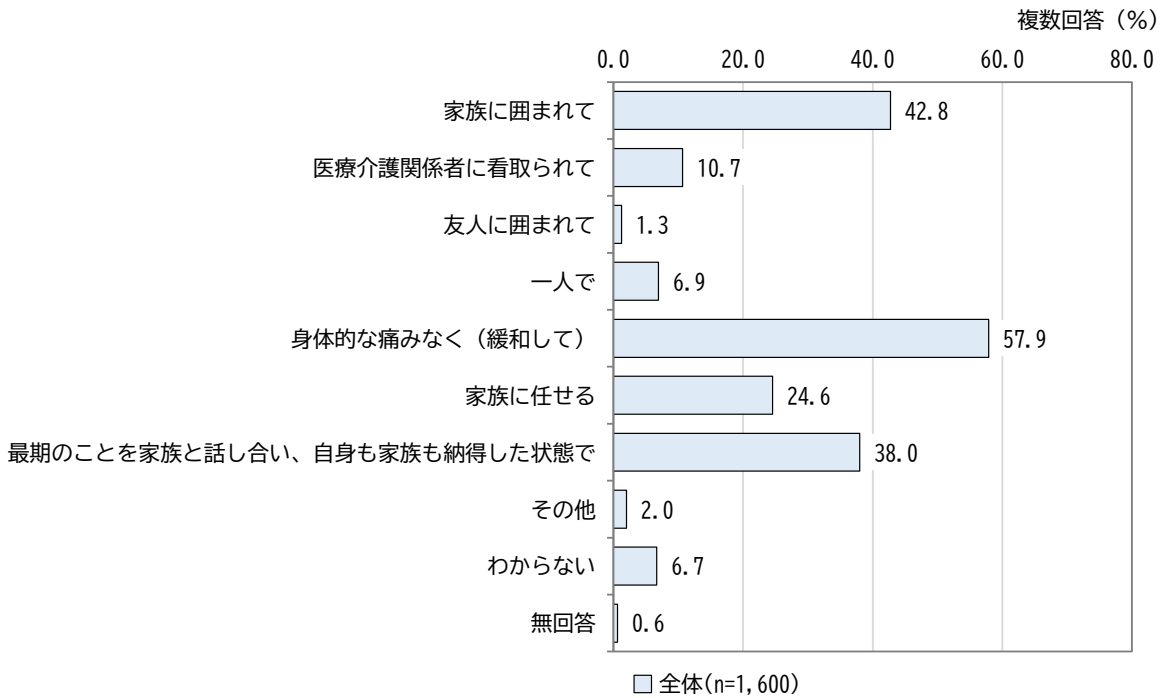


問 15

あなたは、人生の最期（看取り）をどのように迎えたいですか。
あなたのお考えに近いものを教えてください。

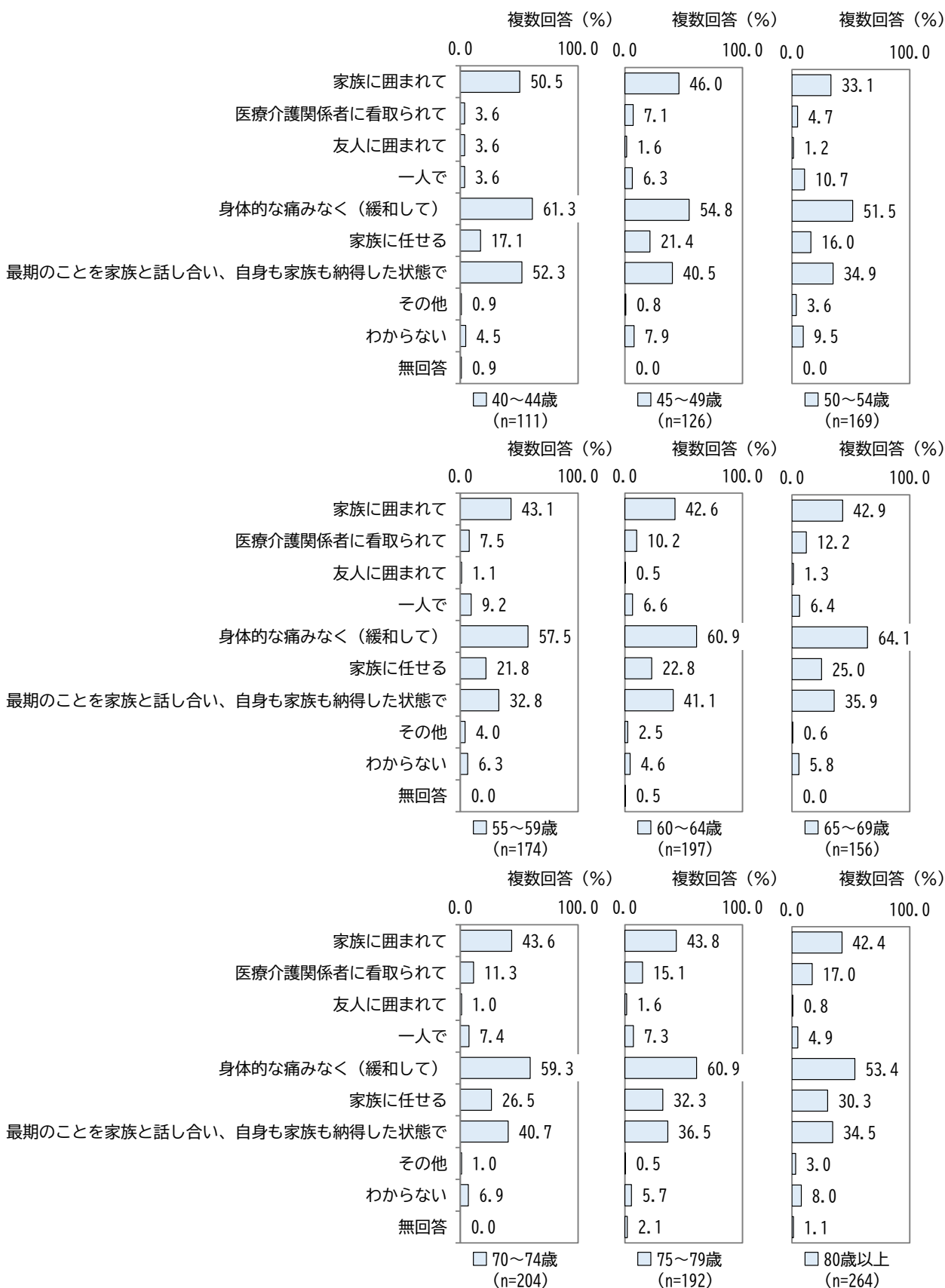
あてはまるもの全てに○

人生の最期（看取り）の迎え方について、「身体的な痛みなく（緩和して）」が 57.9%で最も高く、次いで「家族に囲まれて」が 42.8%、「最期のことを家族と話し合い、自身も家族も納得した状態で」が 38.0%となっています。



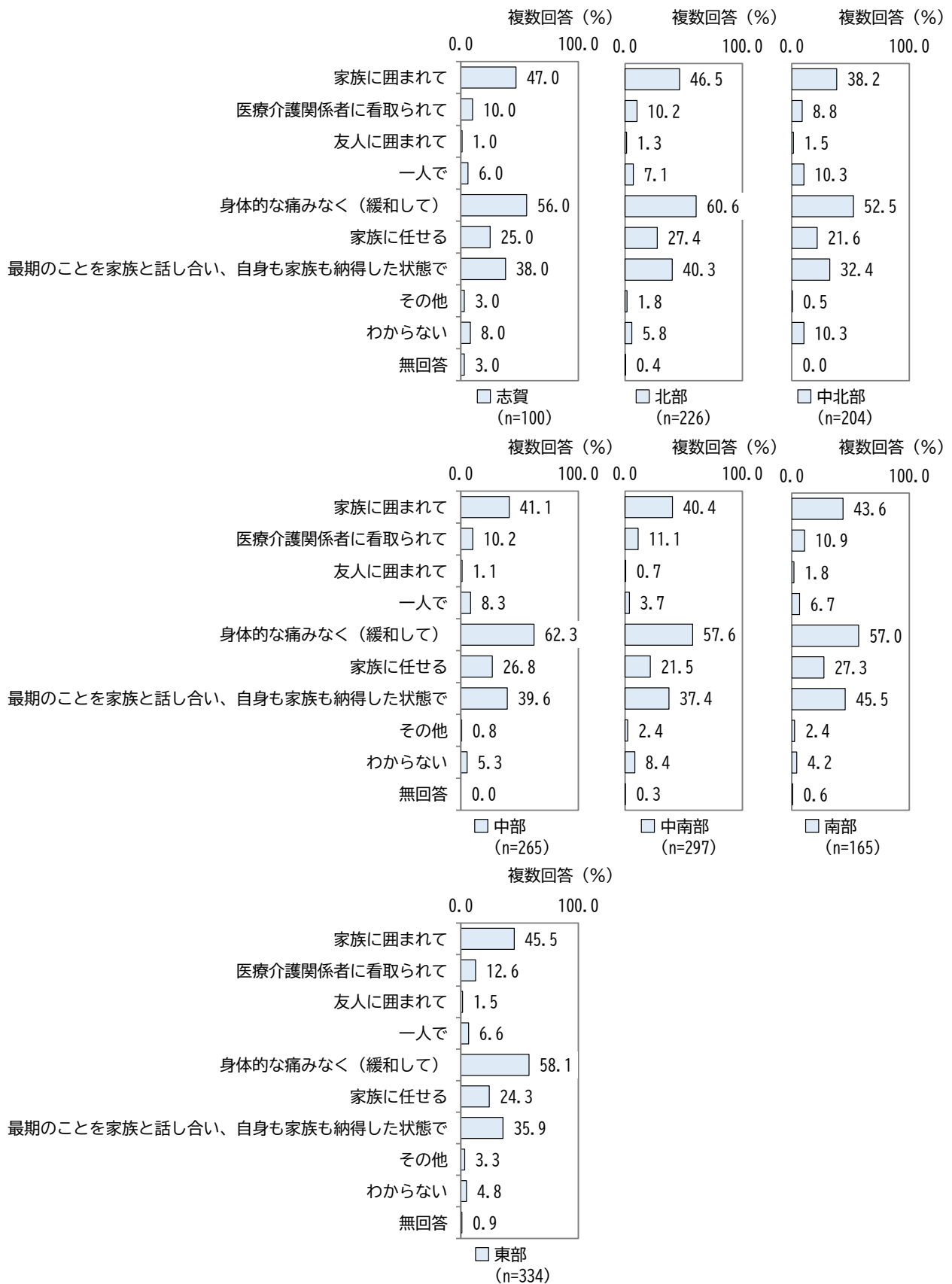
【問 15×問 2】

年齢別でみると、すべての年齢において「身体的な痛みなく（緩和して）」が最も高くなっています。



【問 15×問 3】

ブロック別でみると、すべてのブロックにおいて「身体的な痛みなく（緩和して）」が最も高くなっています。

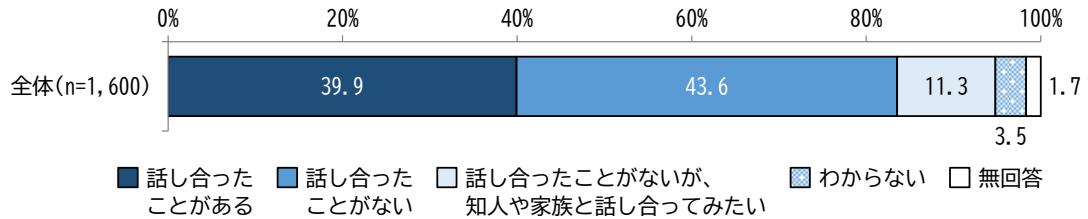


問 16

今までにあなた自身や身近な人の、死や人生の最終段階の迎え方について、家族や知人の方と話し合ったことがありますか。

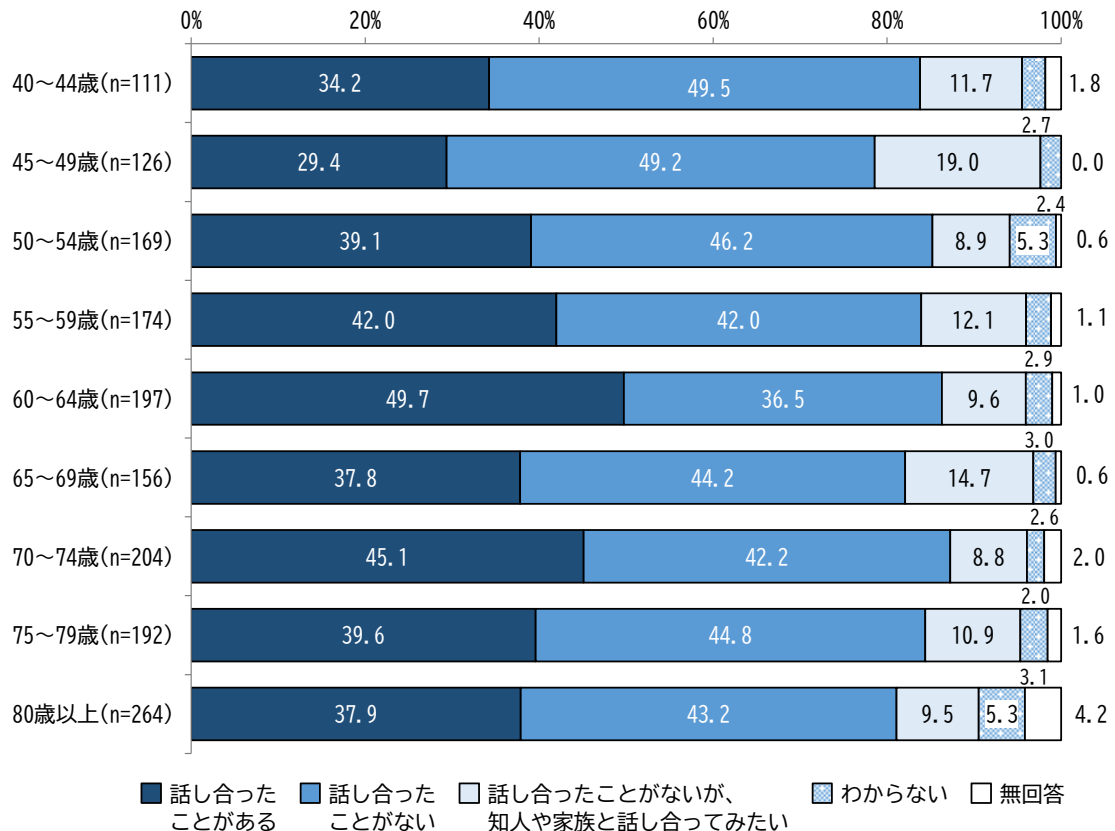
1つに○

今までにあなた自身や身近な人の、死や人生の最終段階の迎え方について、家族や知人の方と話し合ったことがあるかについて、「話し合ったことがない」が43.6%で最も高く、次いで「話し合ったことがある」が39.9%、「話し合ったことがないが、知人や家族と話し合ってみたい」が11.3%となっています。



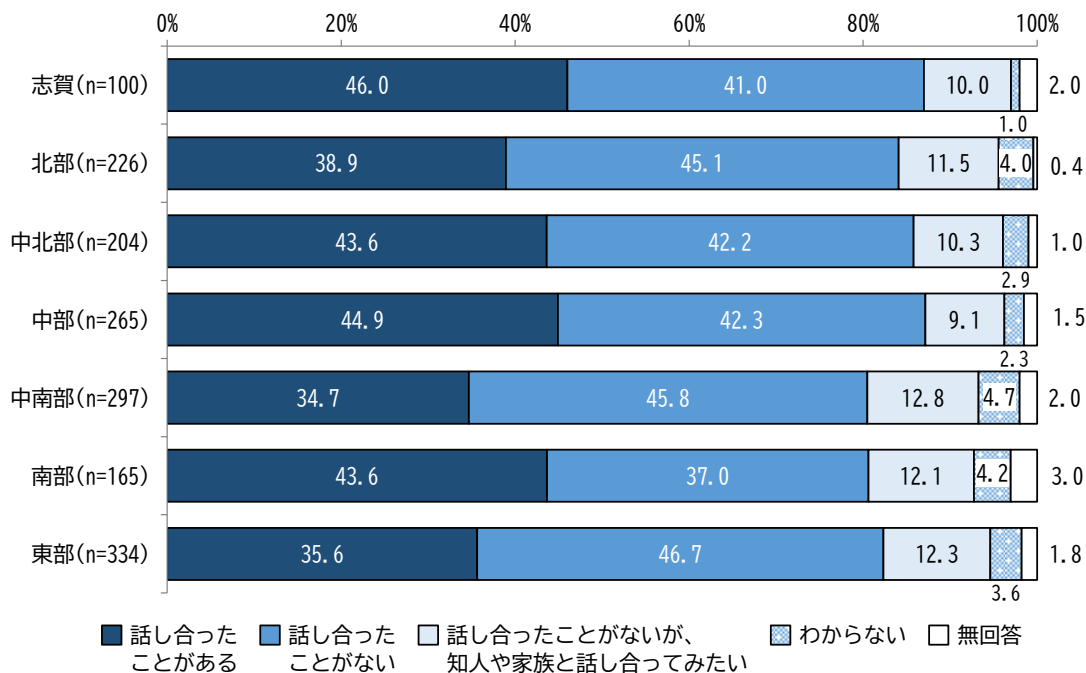
【問 16×問 2】

年齢別でみると、「話し合ったことがない」では、「40～44歳」が49.5%で最も高く、次いで「45～49歳」が49.2%、「50～54歳」が46.2%となっています。



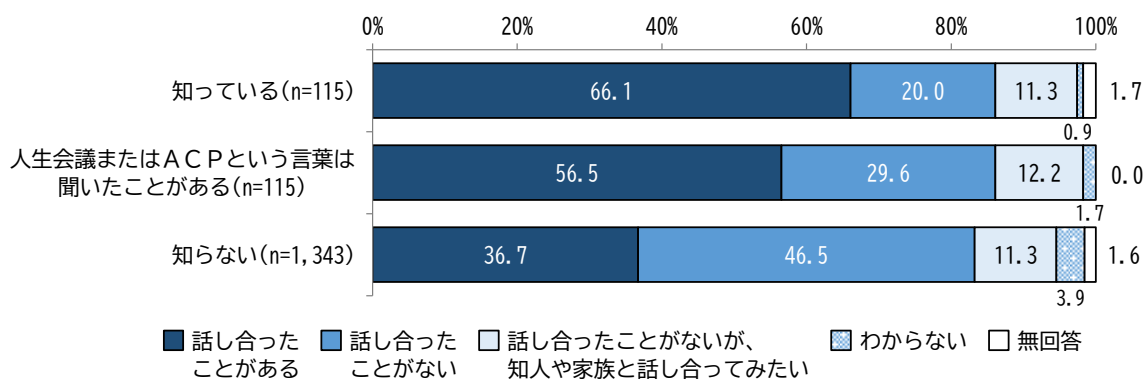
【問 16×問 3】

ブロック別でみると、「話し合ったことがない」では、「東部」が 46.7%で最も高く、次いで「中南部」が 45.8%、「北部」が 45.1%となっています。



【問 16×問 14】

人生会議（ACP）の認知度別でみると、「話し合ったことがある」では、「知っている」が 66.1%で最も高く、次いで「人生会議またはACPという言葉は聞いたことがある」が 56.5%、「知らない」が 36.7%となっています。

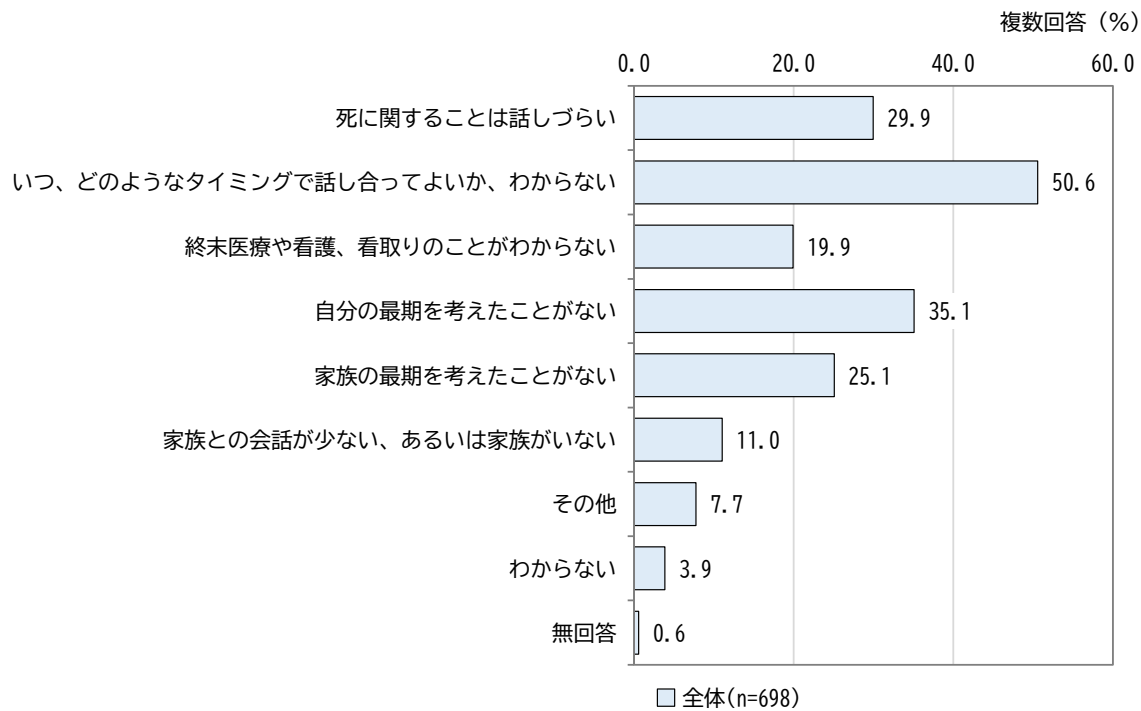


〈問 16 で「話し合ったことがない」とお答えになった方におたずねします。〉

問 17 話し合ったことがない理由を教えてください。

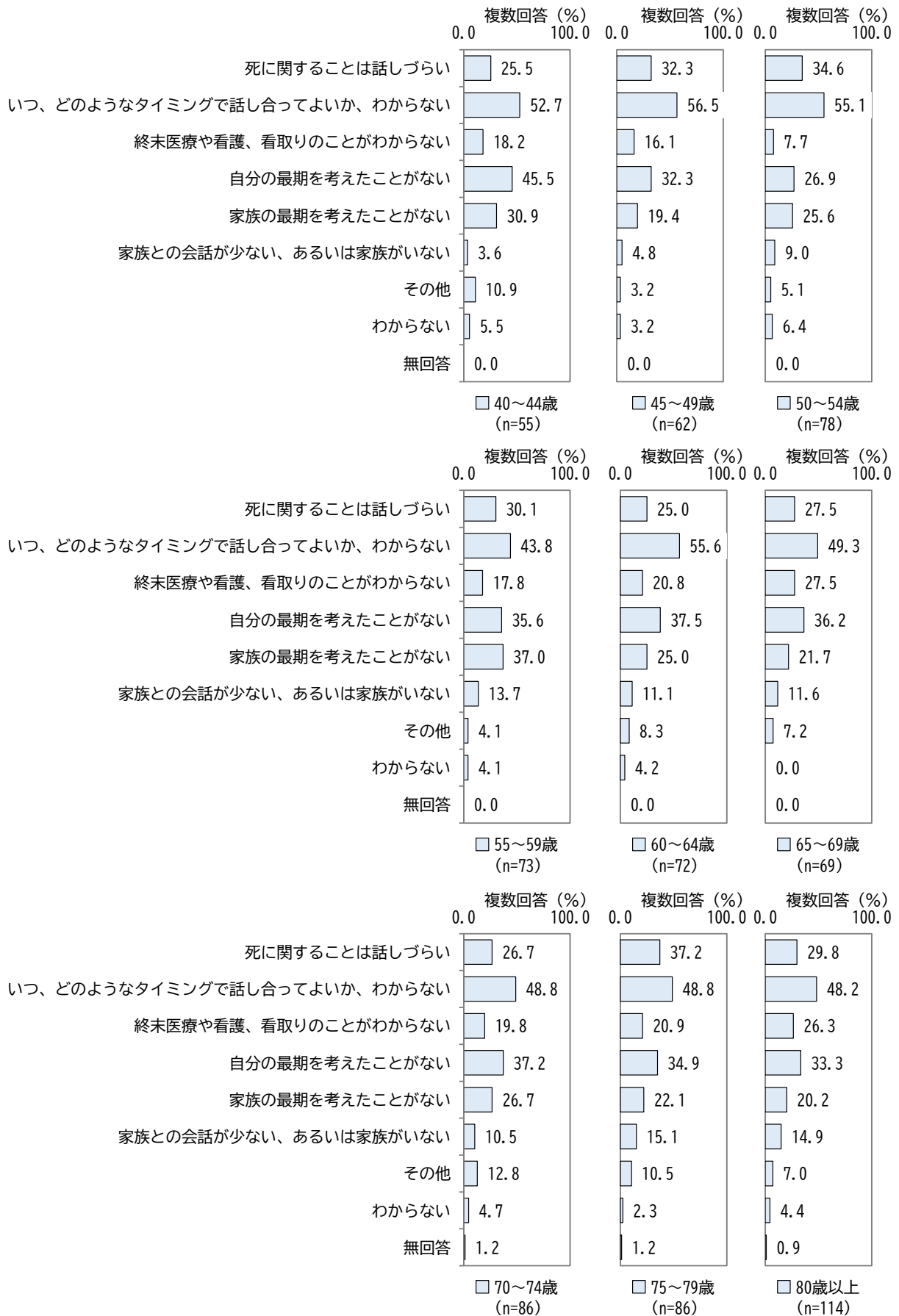
あてはまるもの全てに○

今までにあなた自身や身近な人の、死や人生の最終段階の迎え方について、家族や知人の方と話し合ったことがない人に、その理由について聞いたところ、「いつ、どのようなタイミングで話し合っ
てよいか、わからない」が 50.6%で最も高く、次いで「自分の最期を考えたことがない」が 35.1%、「死に関するこ
とは話しづらい」が 29.9%となっています。



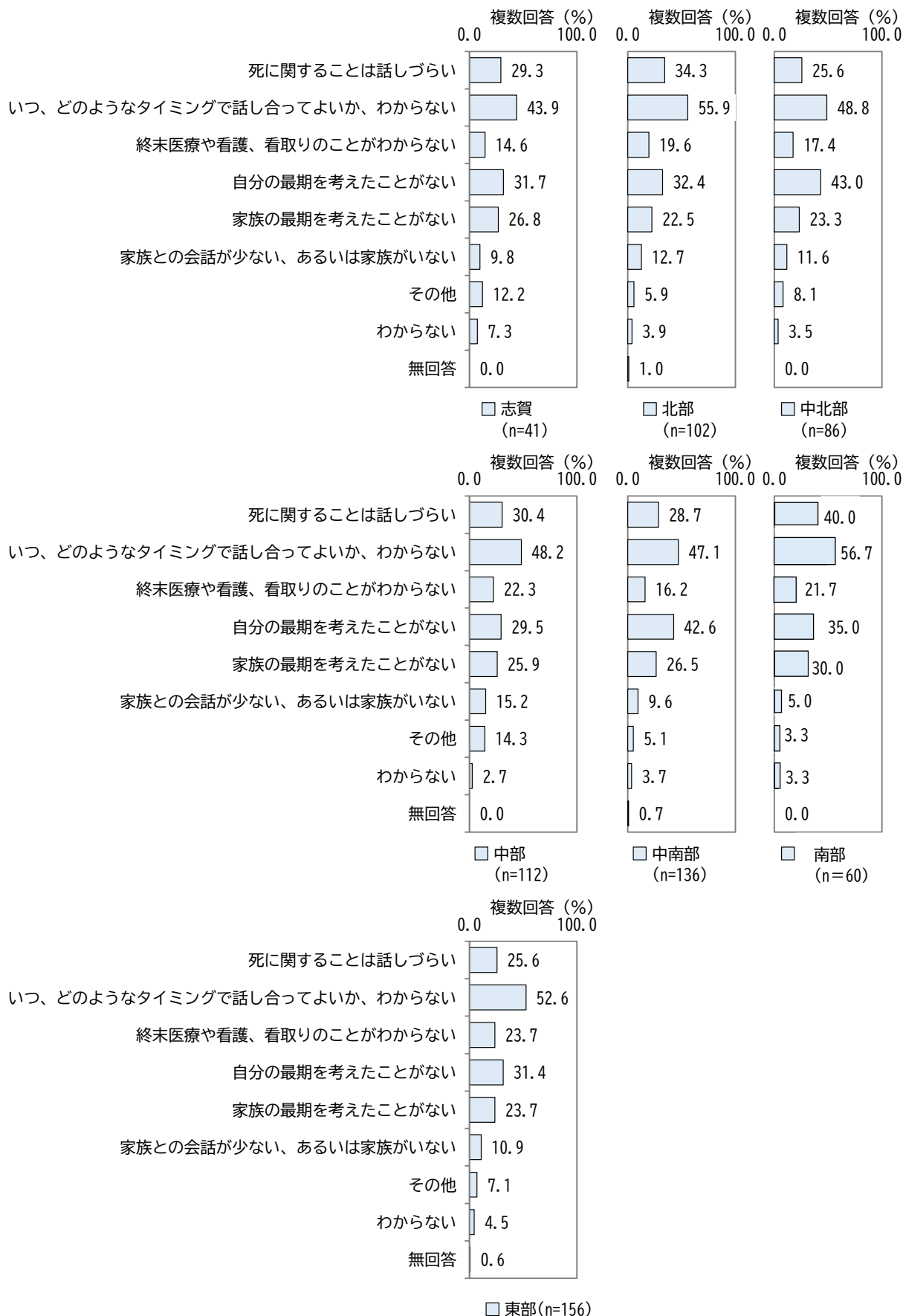
【問 17×問 2】

年齢別でみると、すべての年齢において「いつ、どのようなタイミングで話し合っ
てよいか、わからない」が最も高くなっています。



【問 17×問 3】

ブロック別でみると、すべてのブロックにおいて「いつ、どのようなタイミングで話し合っ
てよいか、わからない」が最も高くなっています。



4. 自由意見

問 18	その他、在宅医療に関するご意見がございましたら、お聞かせください。	自由記述
------	-----------------------------------	------

507人から894件の回答があり、その内容を分類した結果は次の通りです。

なお、複数の意見が記入されているため、回答者数の合計とは一致しません。

区分	件数
在宅医療や人生会議などの情報が不足しており、もっと周知してほしい	96
家族の介護負担が大きく、在宅での対応は難しいと感じている	82
医療や介護の体制が十分でなく、不安を感じている	70
行政や地域からの支援体制を強化してほしいと感じている	61
最期まで自宅で暮らしたい・在宅で看取られたいと考えている	59
医療や介護にかかる費用・経済的な負担が心配である	51
広報誌や説明会などを通じて、もっとわかりやすく情報発信してほしい	39
自分や家族の最期について、まだ現実的に考えられていない	33
医師・看護師・介護職などの専門職が不足していると感じる	31
高齢化の進行や地域の将来に不安を感じている	30
在宅医療や看取りの具体的な方法を知りたい・学びたいと思っている	28
安心して最期を迎えられる地域づくりを望んでいる	23
介護サービスの質を高め、信頼できる体制を望んでいる	22
医療や介護の技術・設備が充実してほしいと感じている	19
将来は施設に入りたい、または施設入所を希望している	17
病院や介護施設の数が足りず、受け入れ先に不安がある	16
家族・本人の意思を尊重した支援を大切にしてほしい	15
家族の中で話し合いができておらず、どう決めるか悩んでいる	13
もっと専門職が家庭に入って支援してほしい（訪問支援の充実）	13
医療と介護、福祉の専門職が連携して支えてほしい	12
終末期医療や看取りの在り方について、もっと話し合う必要がある	11
自分の力でできる限り自立した生活を続けたいと思っている	10
延命治療を望まない、または看取りの在り方について意思を示したいと考えている	10
医療や介護に関する意識啓発や教育が必要だと感じている	8
サービスの申請や利用が複雑で、わかりにくく感じている	8
訪問診療や訪問看護の体制を拡充してほしいと感じている	8
自分の将来に備えたいが、何から始めればよいかわからない	7
家族や近隣との関係性の希薄さを感じている	6
現在の地域医療や介護体制に満足している	4
人生会議（ACP）をもっと広め、話し合う機会をつくってほしい	4
地域包括支援センターなどへの相談や連携をもっと進めてほしい	4
地域によって医療・介護のサービス格差があると感じている	3
その他	81
合計	894

在宅医療に関する市民意識調査結果報告書

令和7年10月

大津市健康福祉部保健所 地域医療政策課

〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号 明日都浜大津1階

電話：077-522-3370 F A X：077-525-6161